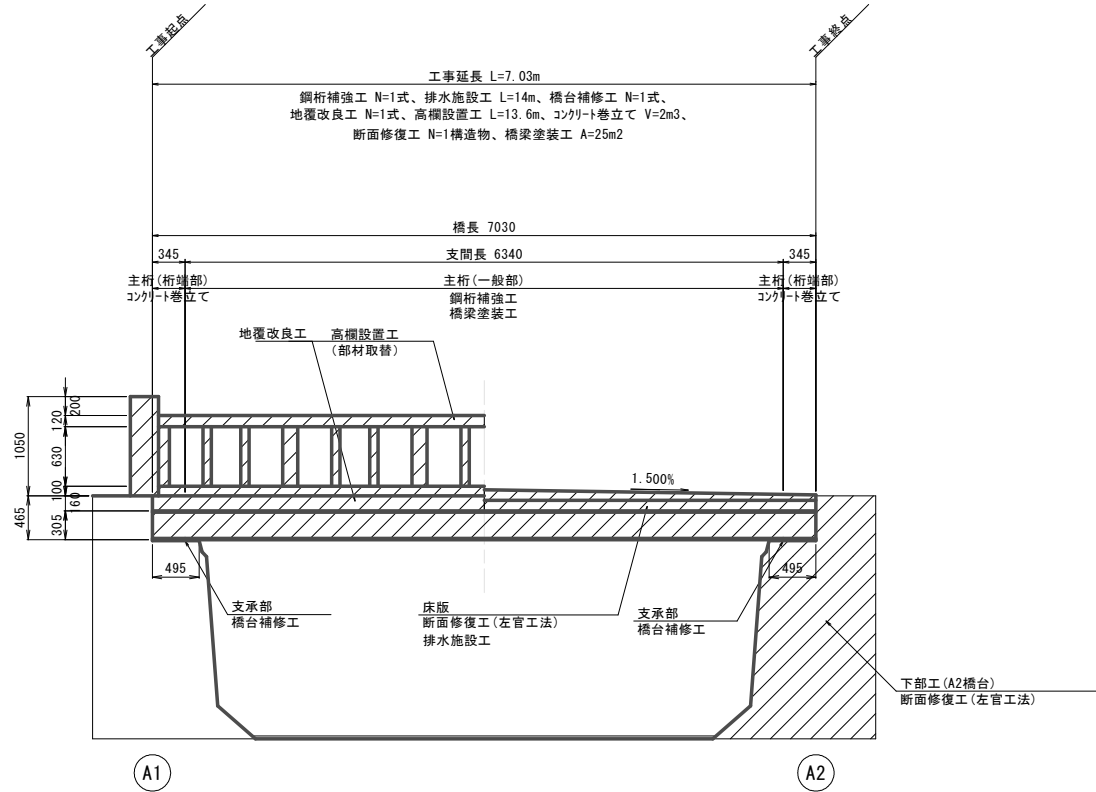


図面目録

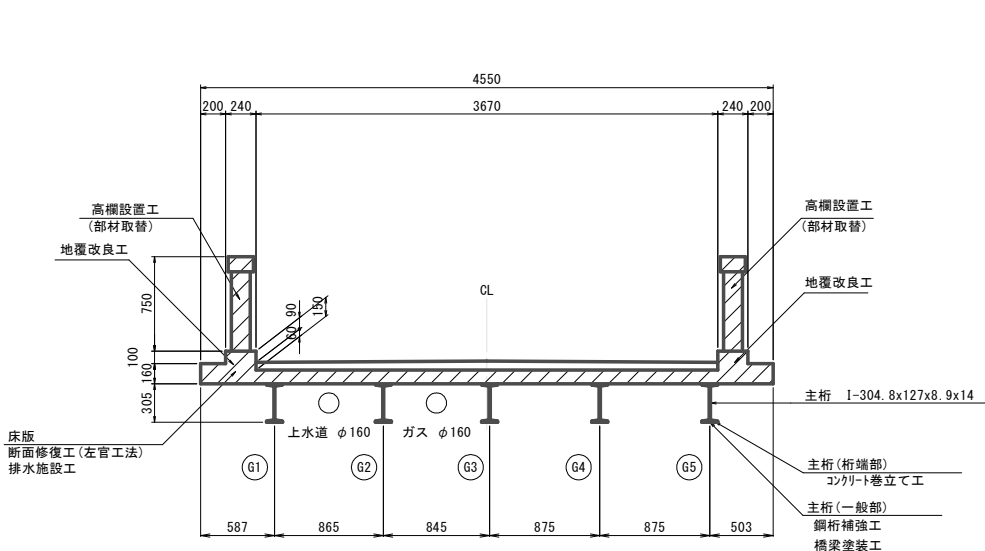
番 号	橋りょう名	図 面 名 称	備考
1	綾小路橋	補修一般図	
2		橋梁塗装工	
3		鋼桁補強工	
4		コンクリート巻き立て工	
5, 6		断面修復工	
7		排水施設工	
8, 9		橋台補修工	
10		既設地覆撤去工、高欄撤去工	
11		地覆改良工	
12		高欄設置工	
13		【参考図】仮防護柵工	
14		【参考図】足場工	
15	岩倉二号橋	補修一般図	
16, 17		断面修復工	
18, 19	朱雀橋	補修一般図	
20		ひび割れ充填工	

綾小路橋 補修一般図

側面図 S=1:40

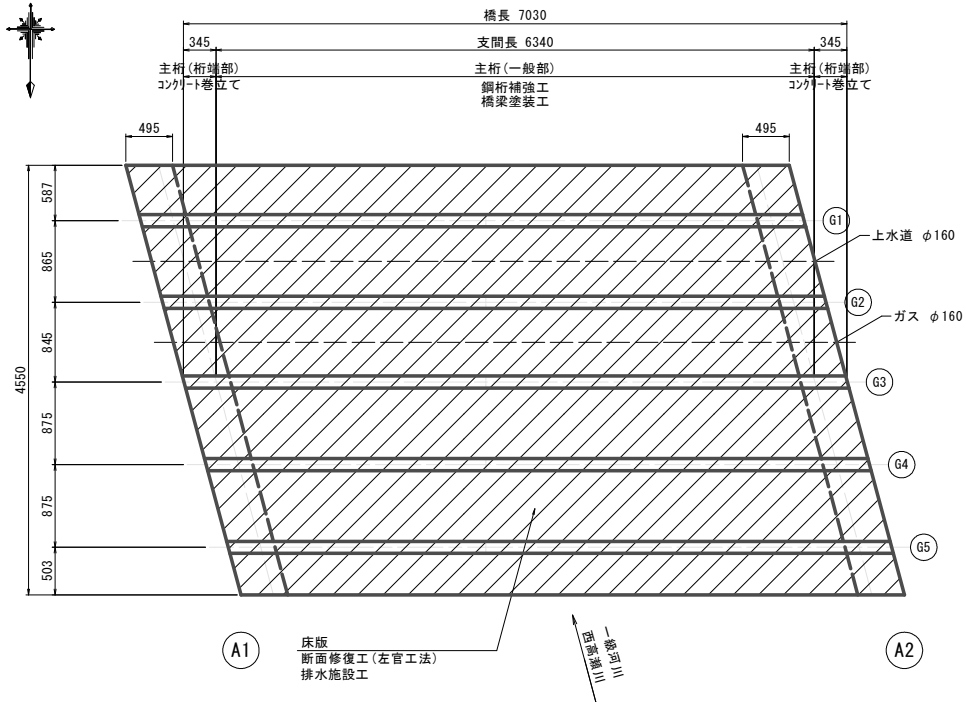


断面図 S=1:30

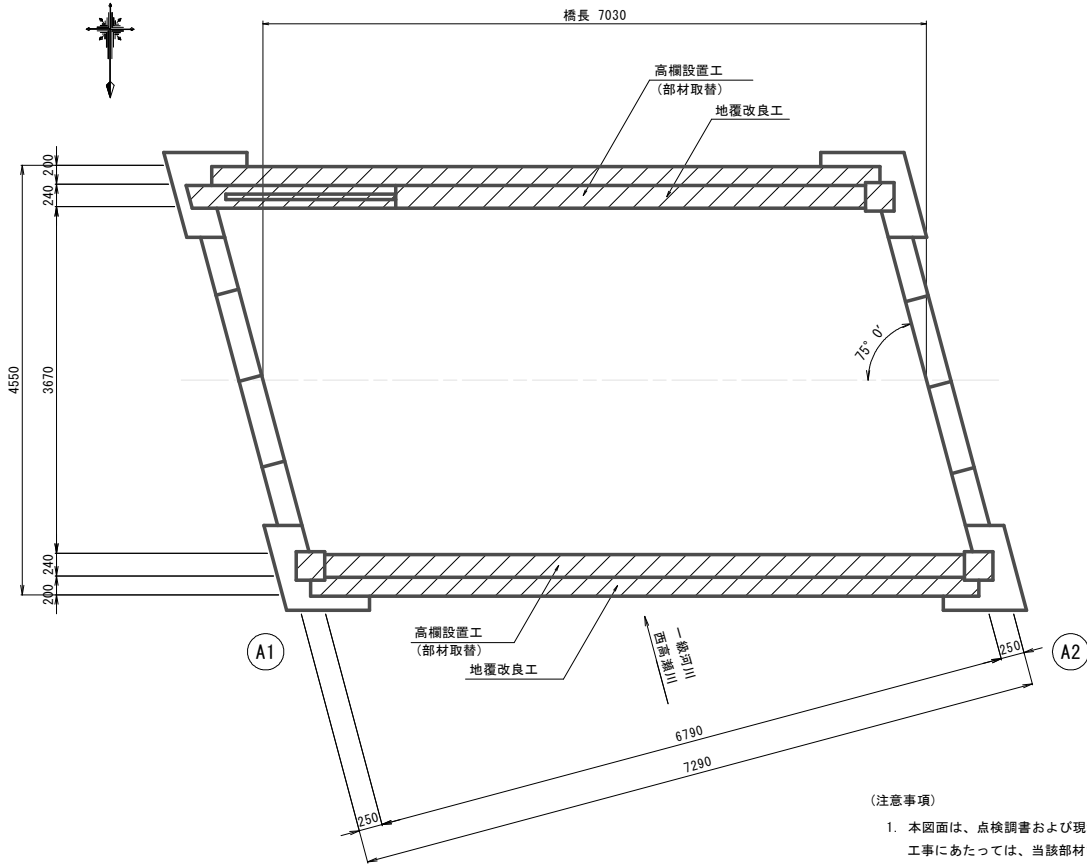


平面図 S=1:40

桁下面



橋面



橋梁諸元	
橋梁形式	鋼単純H形鋼橋(不明)
適用示方書	大正15年道路構造に関する細則案
設計荷重	不明
橋長	7.030 m
桁長	7.030 m
全幅員	4.550 m
有効幅員	3.670 m
下部工形式	不明
基礎形式	不明
竣工年月	1933年(昭和8年)

本工事施工箇所

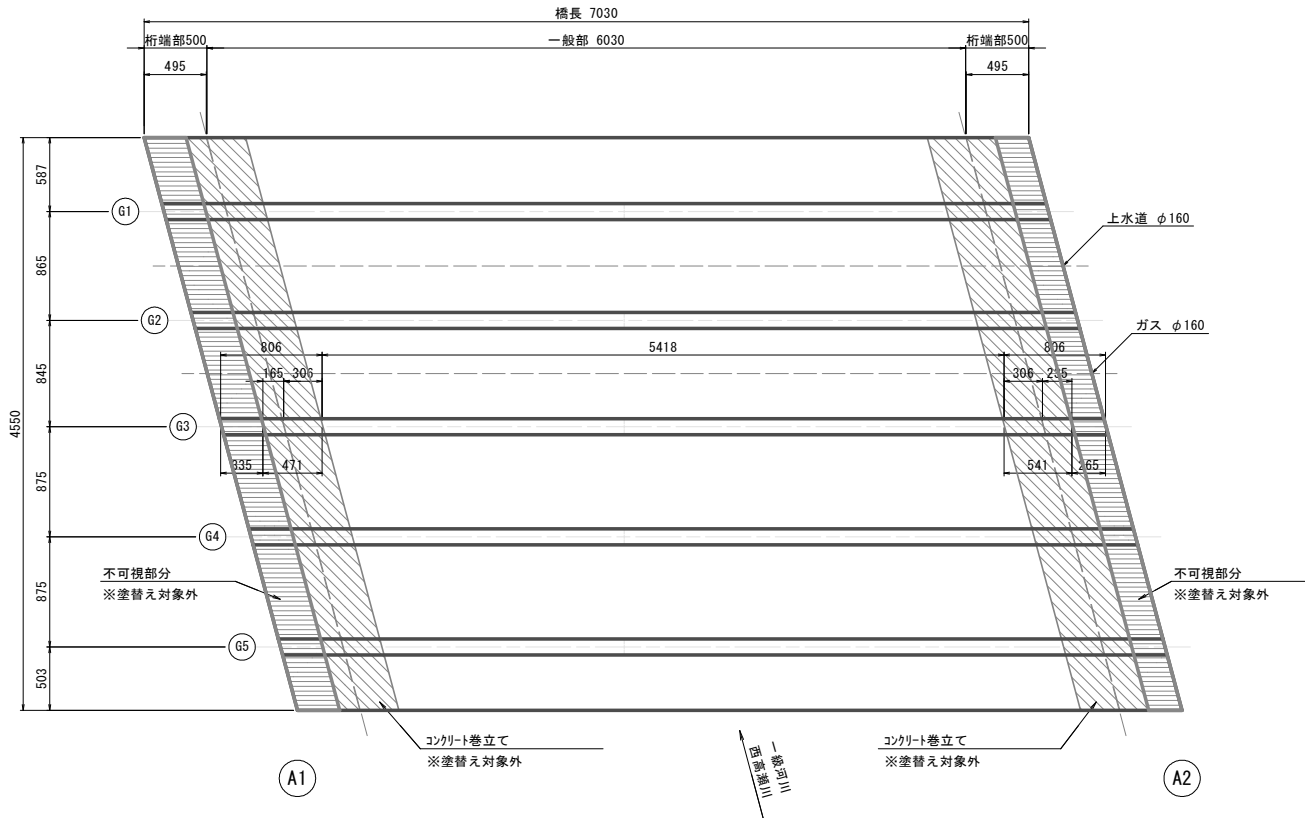
- (注意事項)
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	1 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

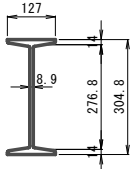
綾小路橋 補修詳細図(1)

橋梁塗装工

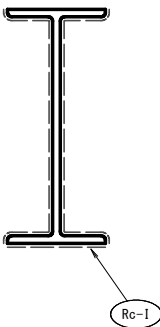
平面図 S=1:30



主桁断面図 S=1:10

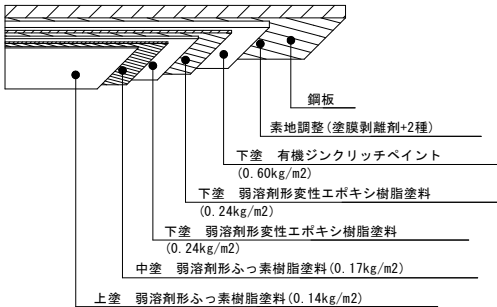


塗装区分図



塗装要領図及び塗装仕様

Rc-I 塗装系



Rc-I 塗装系 (スプレー)

塗装工程		仕 様	使用量 (kg/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	塗膜剥離剤塗布			4時間以内
		2種, 動力工具			
2	下塗り	有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ²	75 μm	1日～10日
3	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ²	60 μm	1日～10日
4	下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	0.24kg/m ²	60 μm	1日～10日
5	中塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	0.17kg/m ²	30 μm	1日～10日
6	上塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	0.14kg/m ²	25 μm	1日～10日

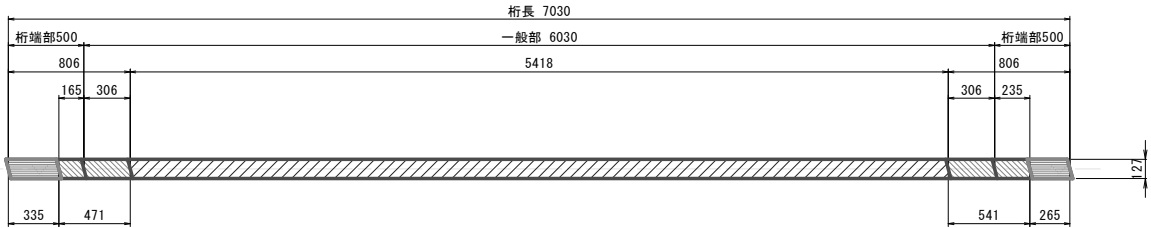
鋼道路橋防食便覧 P.11-118

※ 塗膜剥離剤の標準使用量は0.70kg/m²(ロス率0.07含む)を想定している。
※ 塗膜剥離剤は、中性型水系剥離剤ECO STRIPPER同等品以上とする。

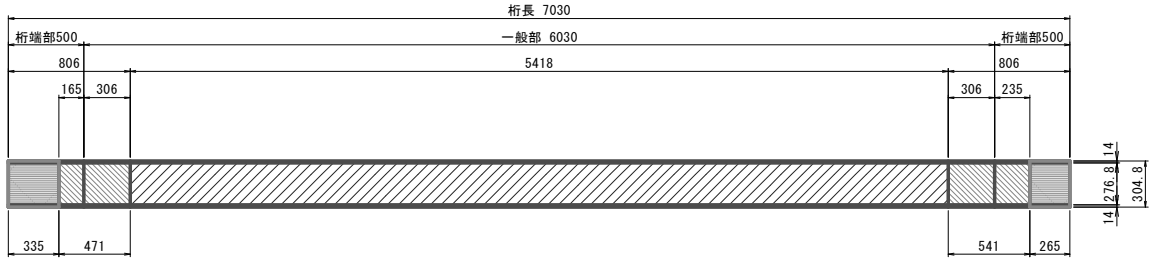
主桁展開図 S=1:25

< G1～G5 >

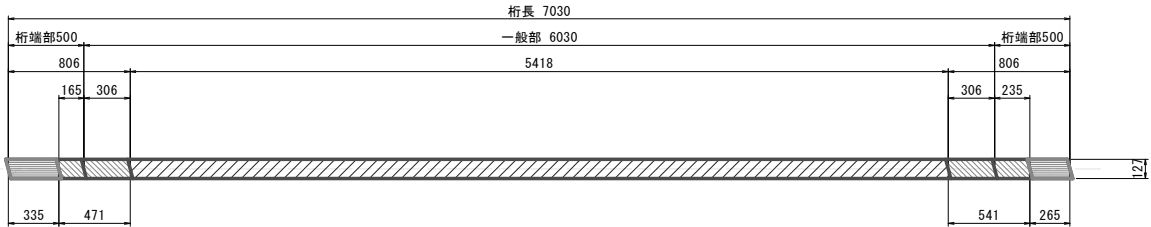
上フランジ



ウェブ



下フランジ



塗装塗替工 数量集計表

		塗装面積 (m ²)	塗膜剥離面積 (m ²)	備 考
主 桁	桁端部	0.0	1.9	
	一般部	25.3	28.2	
合 計		25.3	30.1	

○ : 塗替え対象 (一般部)
○ : 塗替え対象外 (不可視部分)
○ : 塗替え対象外 (Con巻立て工)

- 施工前には必ず現況寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
- 塗装仕様は「鋼道路橋防食便覧 H26.3(日本道路協会)」に準じること。
- 塗膜に有害物質が含まれるため、塗膜剥離、素地調整施工時等は、塗膜が飛散しないように環境へ配慮した対応を行うこと。
- 塗膜剥離時には、湿式塗膜剥離剤工用シート工により養生を行うこと。
- 塗装塗り替え時は塗料等が飛散しないよう防護を行うこと。
- 桁端部の範囲は、橋座前面以上で0.5mラウンドとする。
- コンクリート巻立て工の範囲は塗替え対象外であるが、塗膜剥離のみ塗替え対象とあわせて行うこととする。

(注意事項)

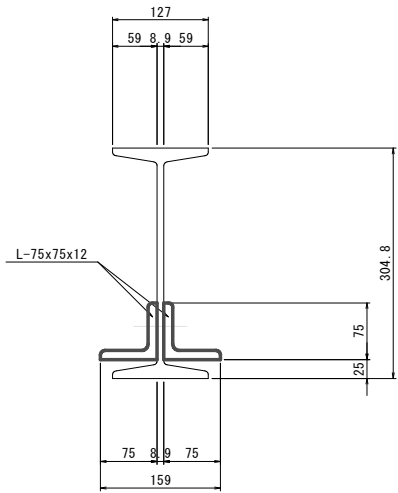
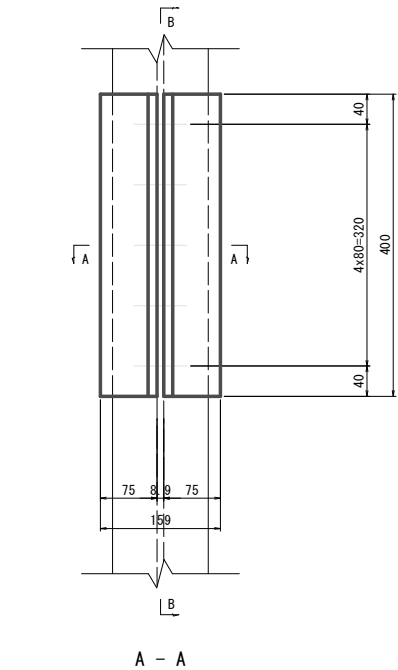
- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	2 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

綾小路橋 補修詳細図(2)

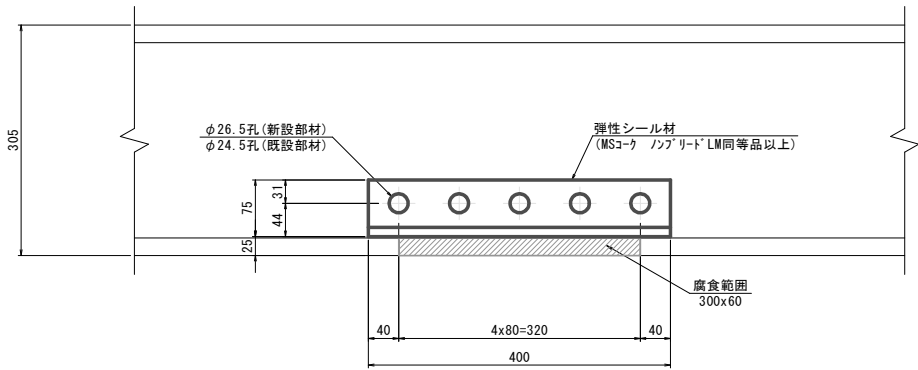
鋼桁補強工

主桁G5(A1側) S=1:5



2 - L 75 x 75 x 12 x 400
5 - TCB M22 x 70 (S10T)

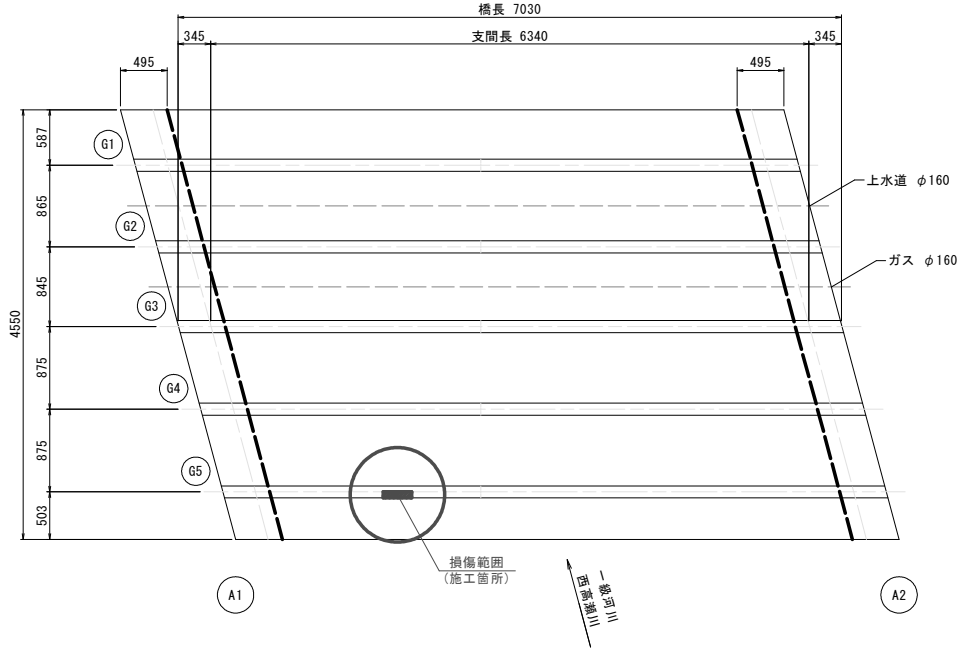
B - B



注釈

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 鋼材寸法は、現地計測後決定すること。
- 印は、トルシア形高力ボルト M22を示し、特記なき孔径は、新設部材φ26.5(工場孔明)、既設部材φ24.5(現場孔明)とする。
- 補修部材の塗装は、新設部材より 50mm拡大範囲とする。
- 当て板する既設面は、ケレン後エポキシ系接着材(レジンパッチ同等品以上)を塗布し 不陸整正を行う。

施工位置図 S=1:40



F-11塗装系(はけ・ローラー)【当て板部】

塗装工程		塗料名	使用量 (g/m ²)	塗膜厚 (μm)	塗装間隔
製作	1	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2		4時間以内
	2	防食下地	無機ジंकリッチペイント	600	75
現場	1	素地調整	動力工具処理 ISO St 3		1年以内
	2	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	130	4時間以内
	3	下塗り	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	500x2	300
	4	中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30
	5	上塗り	ふっ素樹脂塗料用上塗	120	25

鋼道路橋防食便覧 P. II-64

(注意事項)

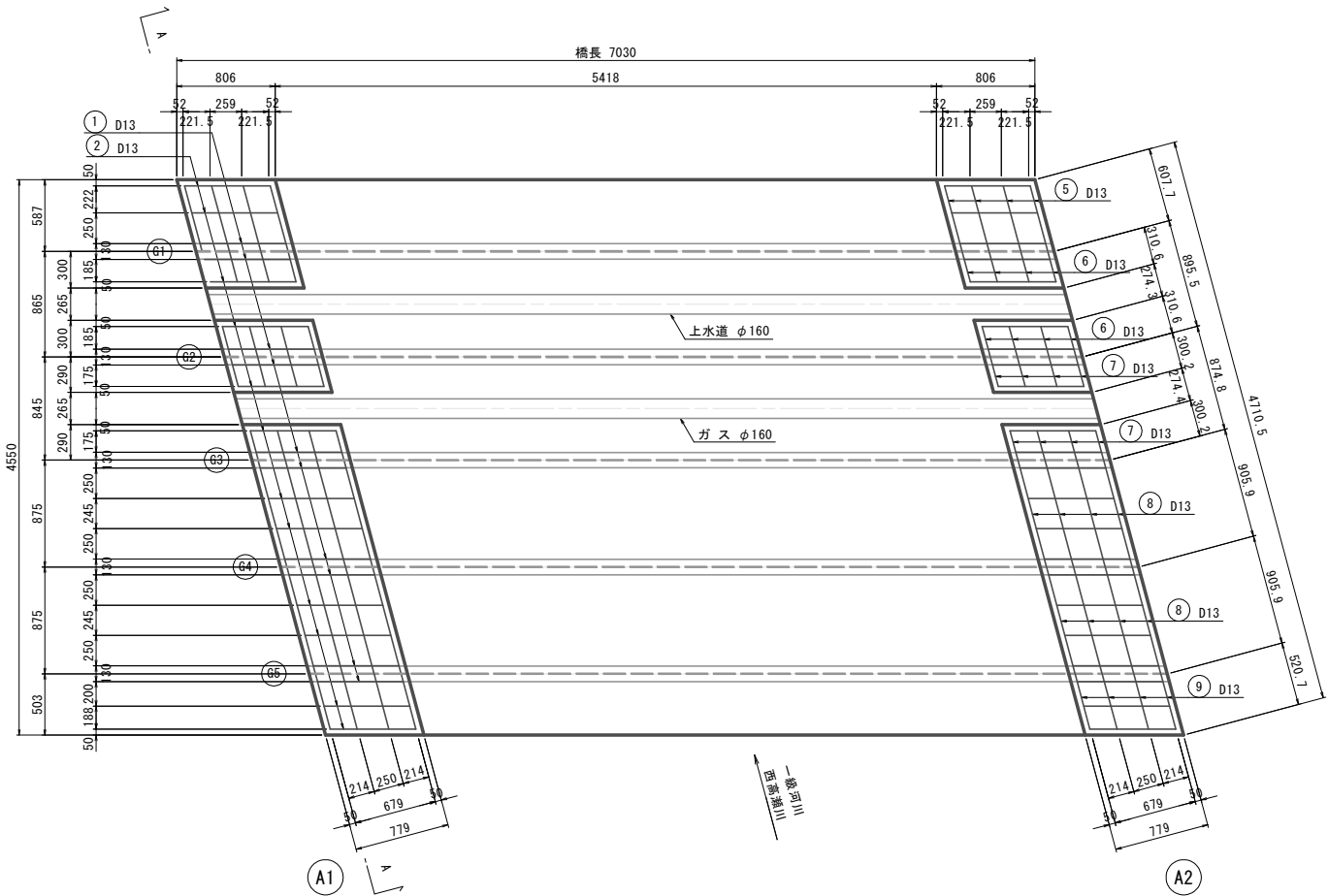
- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	3 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

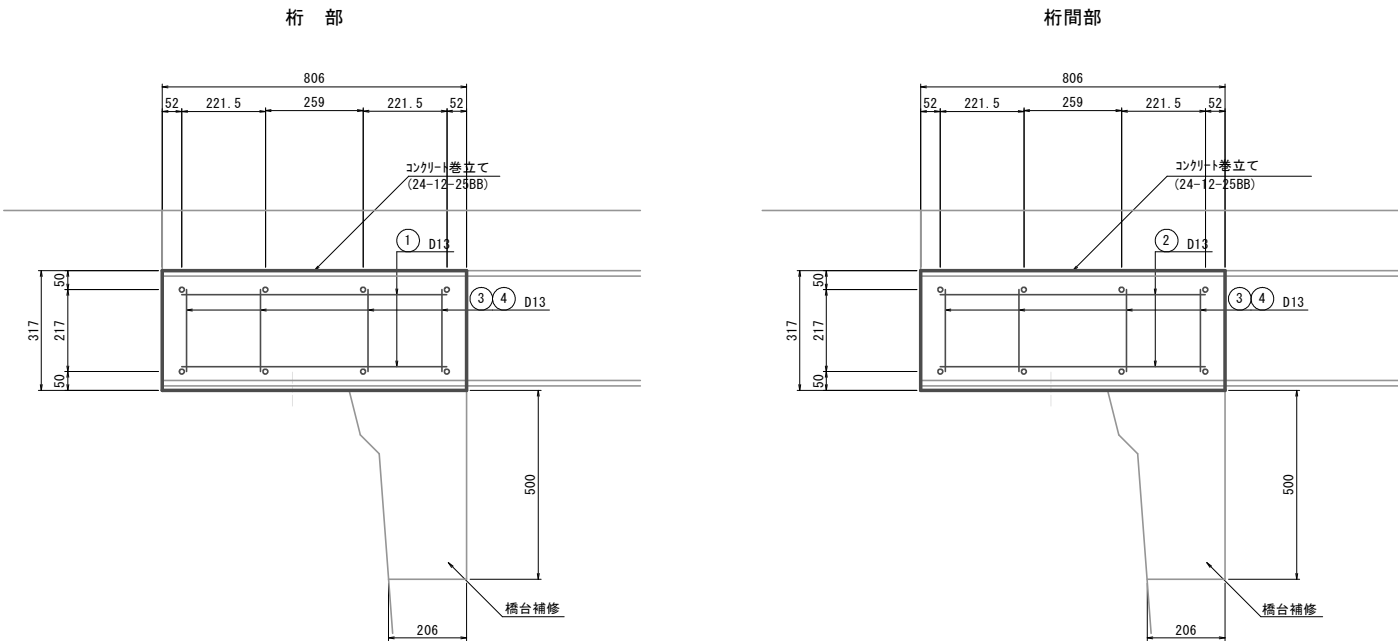
綾小路橋 補修詳細図(3)

コンクリート巻立て工

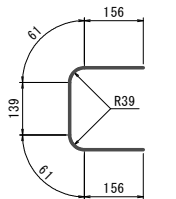
平面図 S=1:30



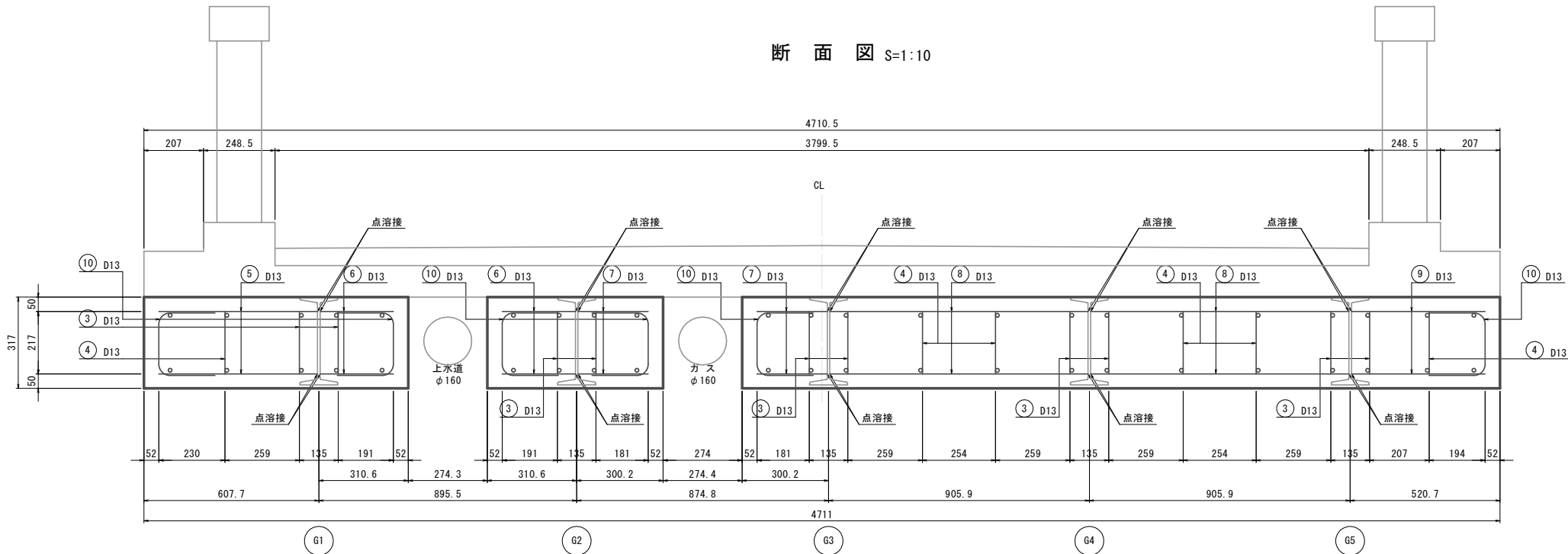
側面図 S=1:10



鉄筋加工図 S=1:10



断面図 S=1:10



コンクリート巻立て 鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
1	D13	710	40	0.995	0.71	28	――
2	D13	710	48	0.995	0.71	34	――
3	D13	220	80	0.995	0.22	18	――
4	D13	220	48	0.995	0.22	11	――
5	D13	560	16	0.995	0.56	9	――
6	D13	260	32	0.995	0.26	8	――
7	D13	250	32	0.995	0.25	8	――
8	D13	900	32	0.995	0.90	29	――
9	D13	470	16	0.995	0.47	8	――
10	D13	580	48	0.995	0.58	28	――
						181	kg
(SD345) 鉄筋質量合計						D13	181 kg
						合計	181 kg

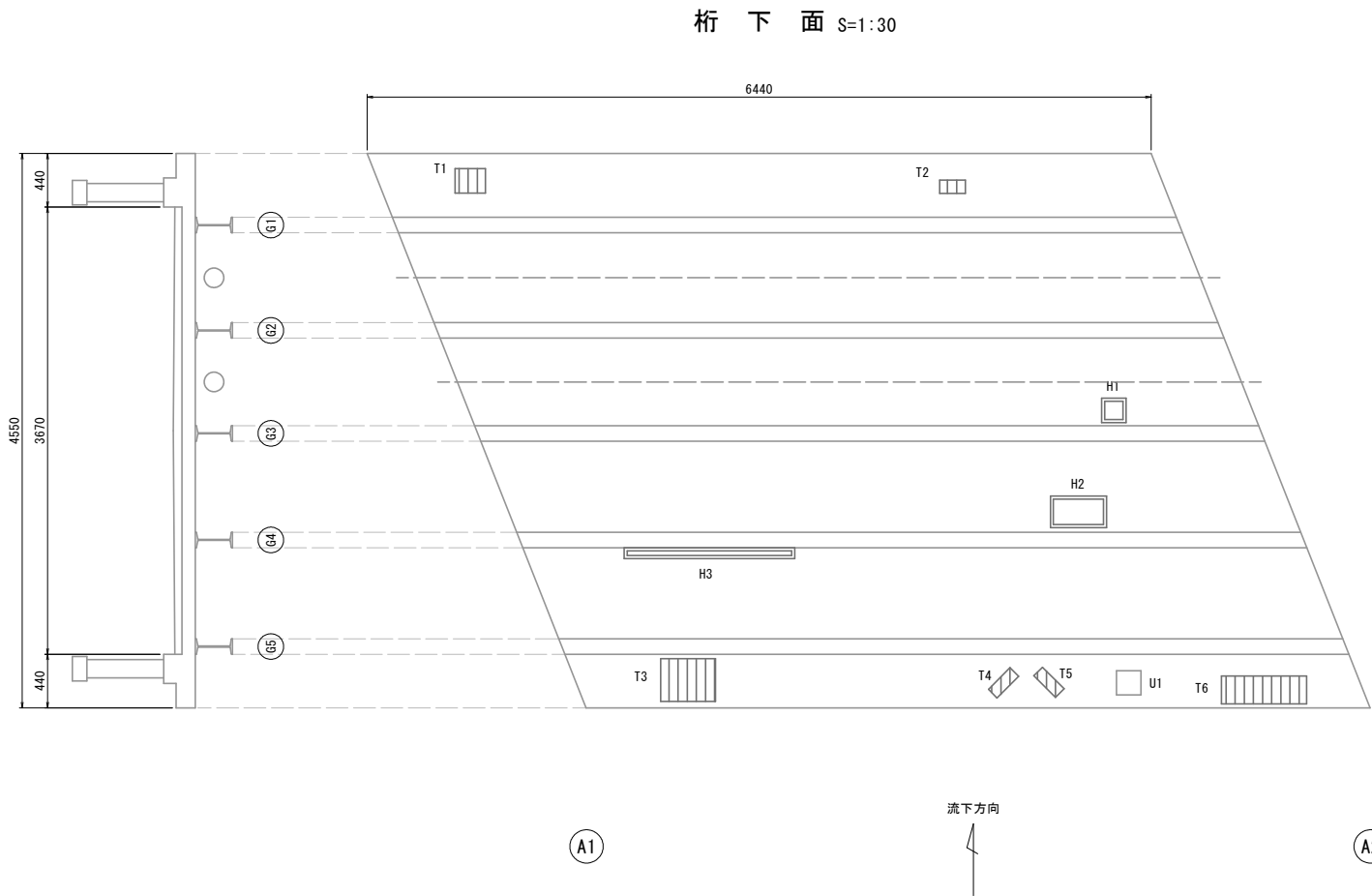
(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(3)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	4 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

綾小路橋 補修詳細図(4)

断面修復工(1)



断面修復工（床版）

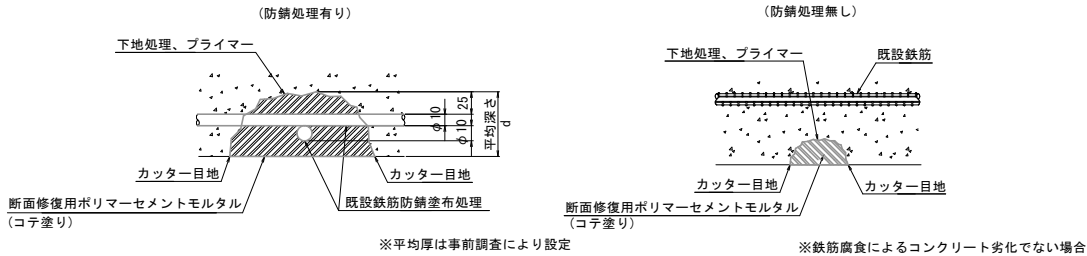
番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
T1	有	0.250	0.200	0.070	0.050	0.0035
T2	有	0.210	0.110	0.055	0.023	0.0013
T3	有	0.450	0.350	0.070	0.158	0.0110
T4	有	0.250	0.100	0.070	0.025	0.0018
T5	有	0.250	0.100	0.070	0.025	0.0018
T6	有	0.700	0.230	0.065	0.161	0.0105
U1	有	0.200	0.200	0.050	0.040	0.0020
H1	無	0.200	0.200	0.030	0.040	0.0012
H2	無	0.460	0.260	0.030	0.120	0.0036
H3	無	1.400	0.090	0.030	0.126	0.0038
合 計 （防錆処理有）					0.482	0.0319
合 計 （防錆処理無）					0.286	0.0086

断面修復工 合計

工 種	種 別	仕 様	単位	数量	備 考
断面修復工 左官工法 （防錆処理有り）	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m3	0.0319	
断面修復工 左官工法 （防錆処理無し）	断面修復体積	〃	m3	0.0144	

※ 工事時に鉄筋かぶりおよび鉄筋径を確認すること。
※ うきは鉄筋位置不明のため、d=50mmで想定する。
※ 防錆処理無しの損傷はd=30mmを基本とするが、それ以上の深さのものは、同程度で調整すること。
※ 施工にあたっては、事前に現地再確認、再計測を行い、監督員に確認のうえで最終数量を決定すること。

断面修復工詳細図



断面修復工特記事項

- 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
- 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
- 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空袋、充袋の数量により決定すること。
空袋、充袋については、監督職員の了承を得ること。
- 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

凡 例

損傷の種類	表 示
鉄筋露出	T
う き	U
剝 離	H
欠 損	K
その他(豆板)	M

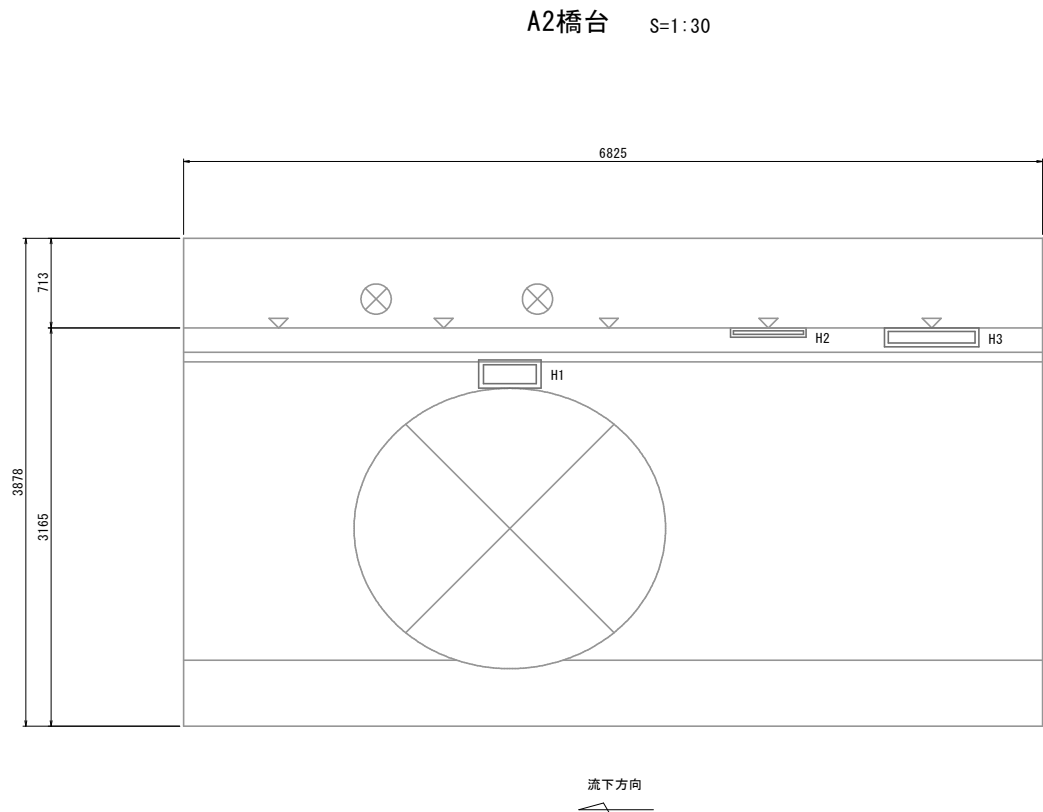
(注意事項)

- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(4)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	5 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

綾小路橋 補修詳細図(5)

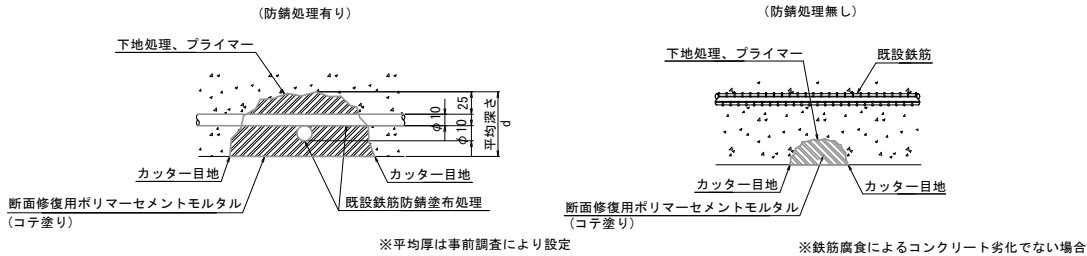
断面修復工(2)



断面修復工 (A2橋台)

番号	防錆処理	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
H1	無	0.330	0.150	0.050	0.050	0.0025
H2	無	0.400	0.050	0.040	0.020	0.0008
H3	無	0.500	0.100	0.050	0.050	0.0025
合 計 (防錆処理無)					0.120	0.0058

断面修復工詳細図



断面修復工特記事項

- 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
- 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
- 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空袋、充袋の数量により決定すること。
空袋、充袋については、監督職員の了承を得ること。
- 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

凡 例

損傷の種類	表 示
鉄筋露出	T
う き	U
剝 離	H
欠 損	K
その他(豆板)	M

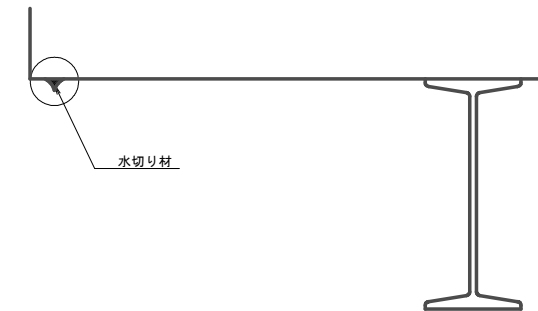
(注意事項)

- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(5)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	6 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

排水施設工

水切り詳細図(1) S=1:5



接着剤
(シリコンエポキシ樹脂系)

水切り材
(ウォータークッター同等品以上)

15

20程度

25

工 種	種 別	規 格	単位	上流側	下流側	合 計	備 考
水切り設置工	ウォーターカッター同等品以上	ポリ塩化ビニール	m	7.030	7.030	14.060	

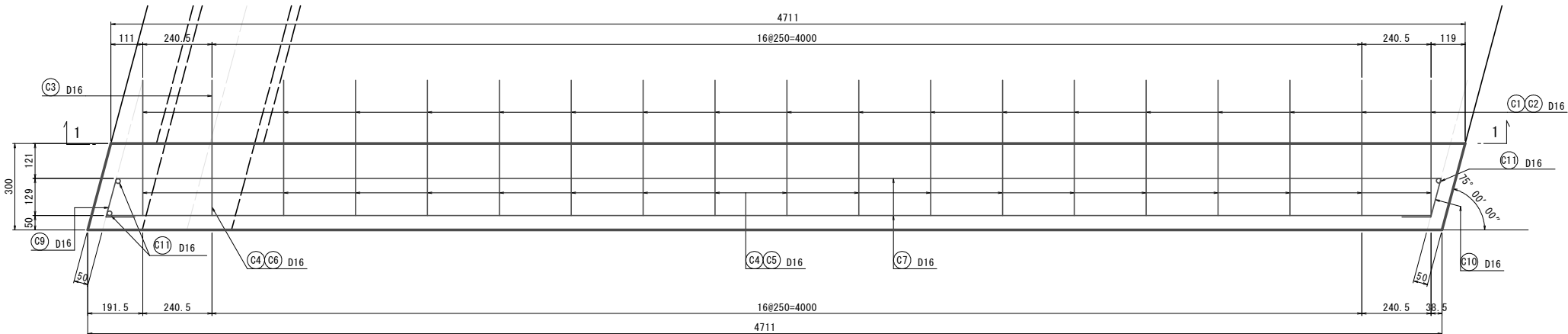
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(6)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	7 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

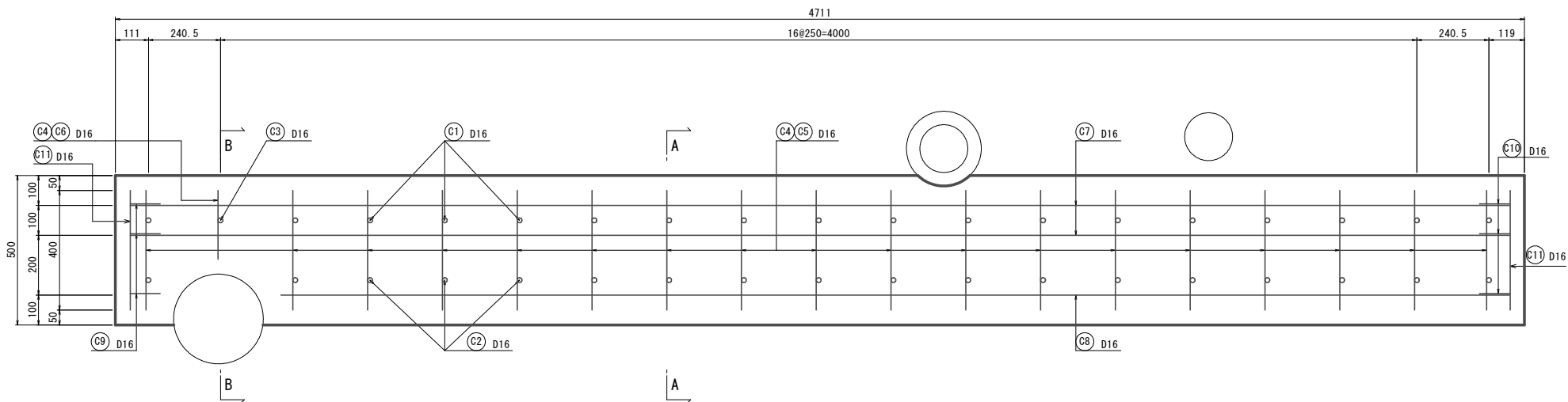
綾小路橋 補修詳細図(7)

橋台補修工(A1橋台)

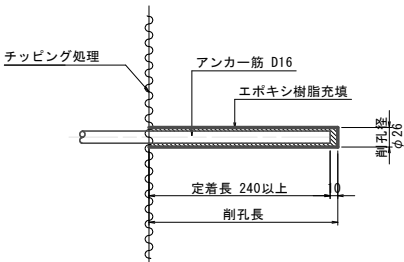
平面図 S=1:10



正面図 (1-1) S=1:10



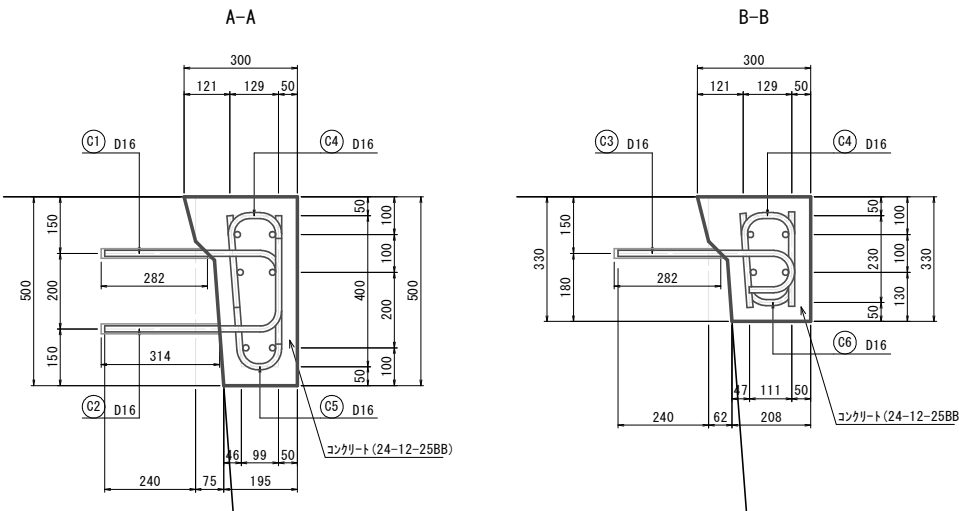
アンカー筋定着部詳細図 S=1:5



注記

1. 施工に先立ち必ず現地実測の上、工事を実施すること。
2. 後施工アンカーの設置にあたっては、事前に引抜き試験を実施すること。

断面図 S=1:10



鉄筋表 (A1橋台)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	形状
C1	D16	680	18	1.56	1.06	19	┌ └
C2	〃	680	18	〃	1.06	19	
C3	〃	630	1	〃	0.98	1	┌ └
C4	〃	570	19	〃	0.89	17	
C5	〃	870	18	〃	1.36	24	┌ └
C6	〃	550	1	〃	0.86	1	
C7	〃	4610	4	〃	7.19	29	┌ └
C8	〃	4110	2	〃	6.41	13	
C9	〃	150	3	〃	0.23	1	┌ (平均長) └ (平均長)
C10	〃	180	3	〃	0.28	1	
C11	〃	400	3	〃	0.62	2	
合 計 =							127 kg
(SD345) D16							127 kg
合計							127 kg

(注意事項)

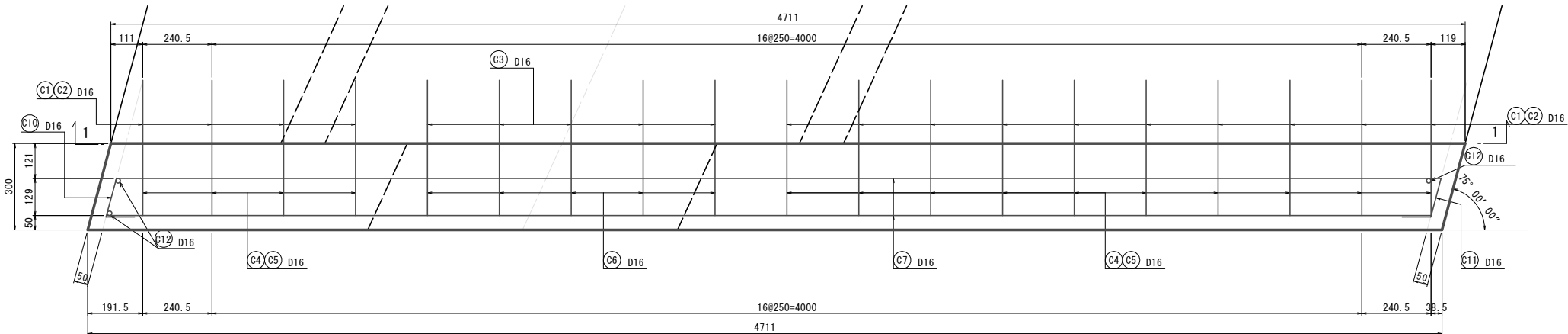
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(7)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	8 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

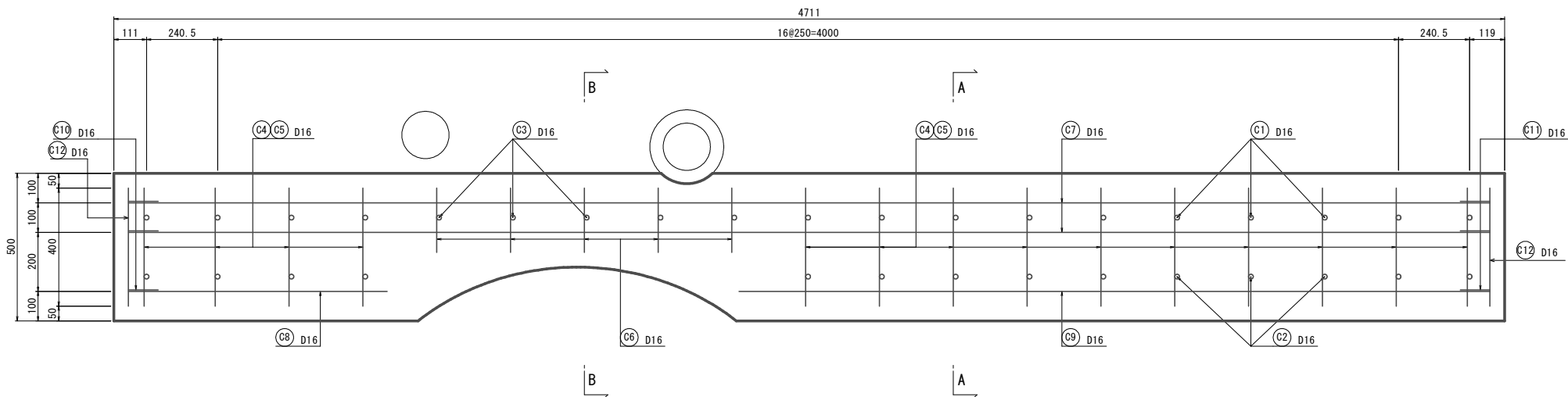
綾小路橋 補修詳細図(8)

橋台補修工(A2橋台)

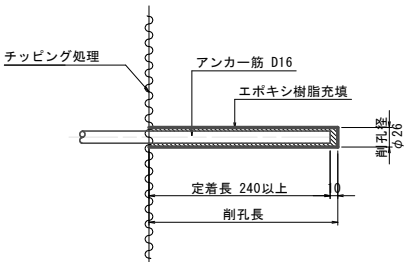
平面図 S=1:10



正面図 S=1:10
(1-1)



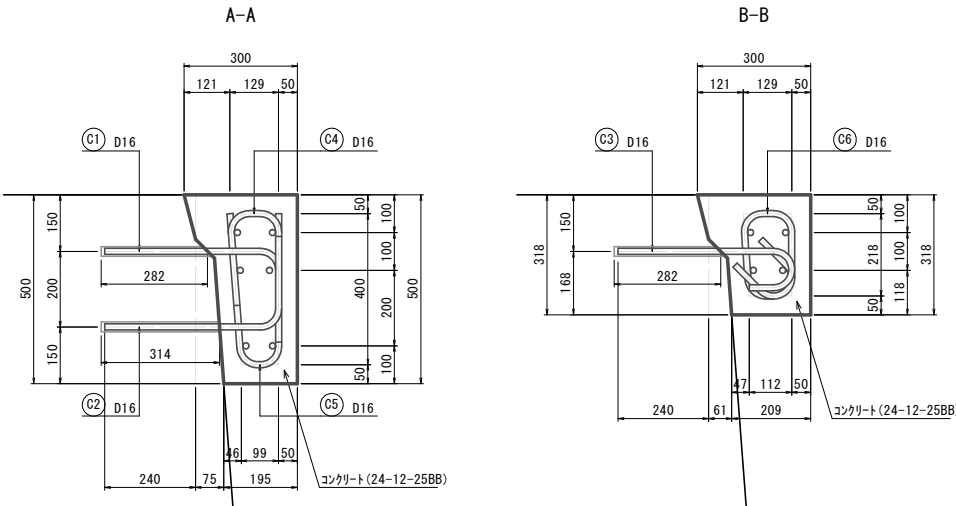
アンカー筋定着部詳細図 S=1:5



注記

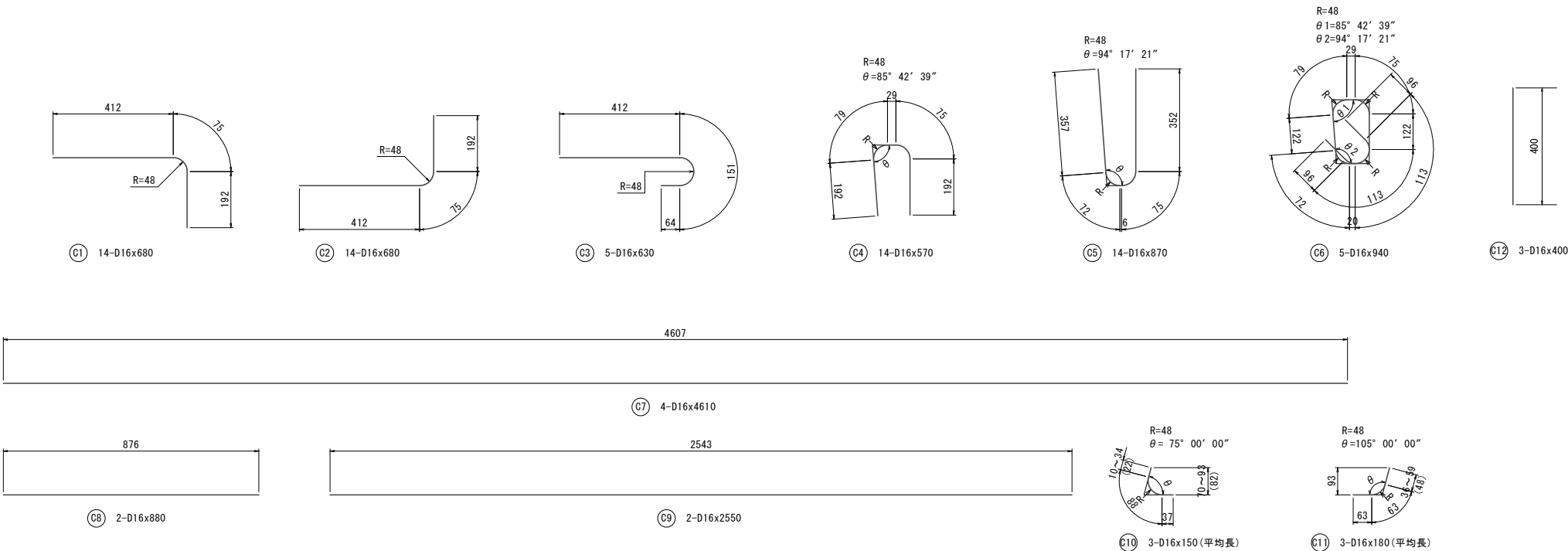
1. 施工に先立ち必ず現地実測の上、工事を実施すること。
2. 後施工アンカーの設置にあたっては、事前に引抜き試験を実施すること。

断面図 S=1:10



鉄筋表(A2橋台)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	形状
C1	D16	680	14	1.56	1.06	15	┌─┐ └─┘
C2	〃	680	14	〃	1.06	15	
C3	〃	630	5	〃	0.98	5	
C4	〃	570	14	〃	0.89	12	
C5	〃	870	14	〃	1.36	19	
C6	〃	940	5	〃	1.47	7	
C7	〃	4610	4	〃	7.19	29	
C8	〃	880	2	〃	1.37	3	
C9	〃	2550	2	〃	3.98	8	
C10	〃	150	3	〃	0.23	1	
C11	〃	180	3	〃	0.28	1	┌─┐ └─┘
C12	〃	400	3	〃	0.62	2	
合 計 =							117 kg
(SD345)				D16	117 kg		
				合計	117 kg		



(注意事項)

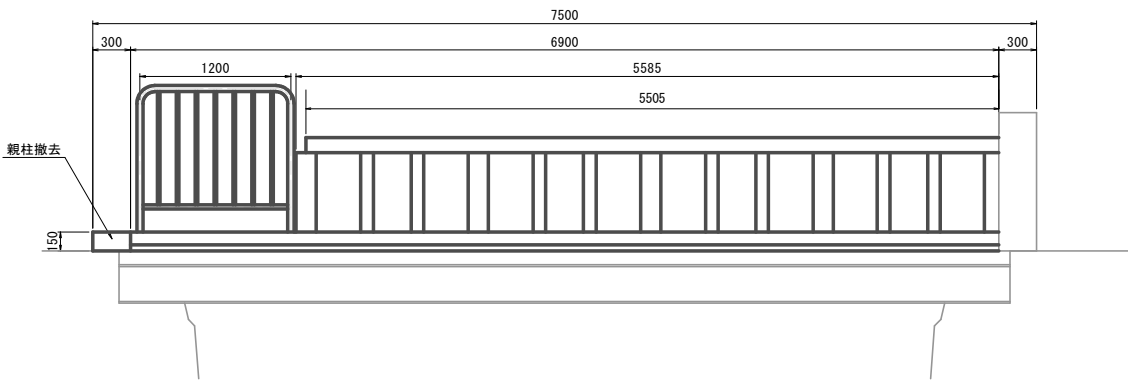
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(8)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	9 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

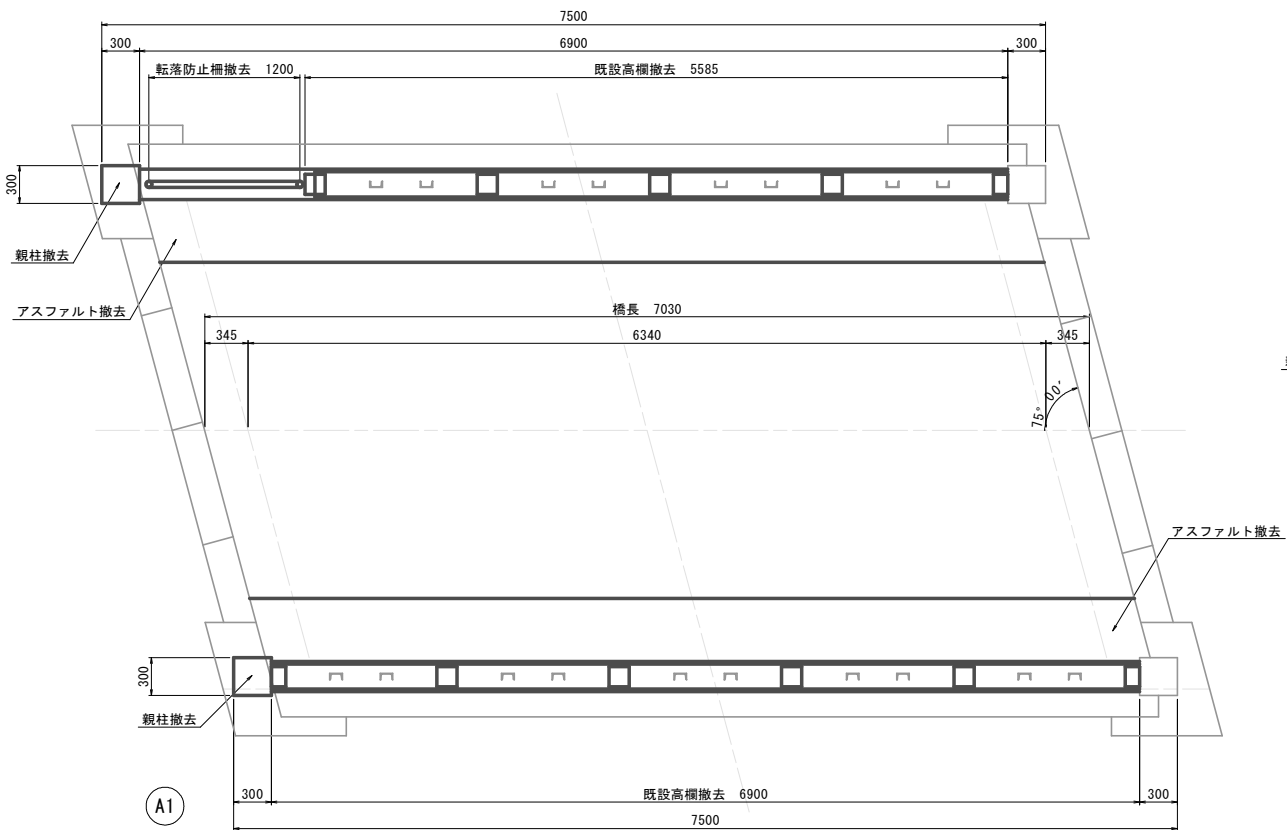
綾小路橋 補修詳細図(9)

既設地覆撤去工、高欄撤去工

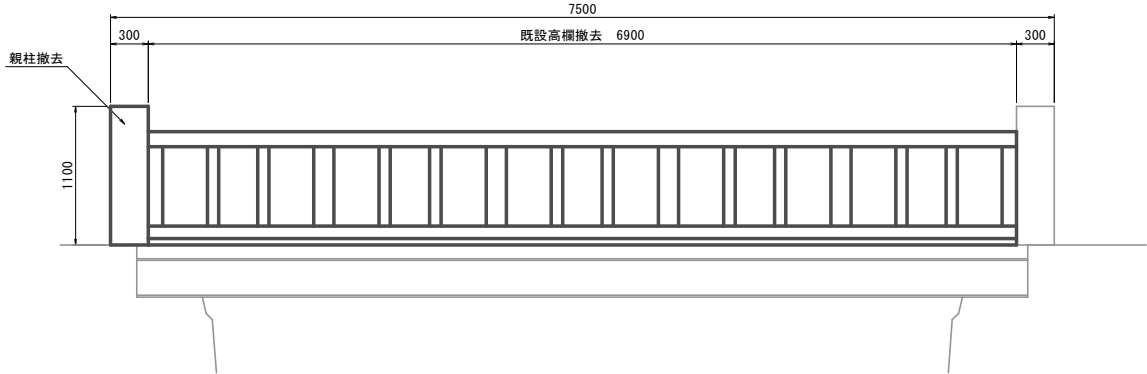
側面図(下流側) S=1:30



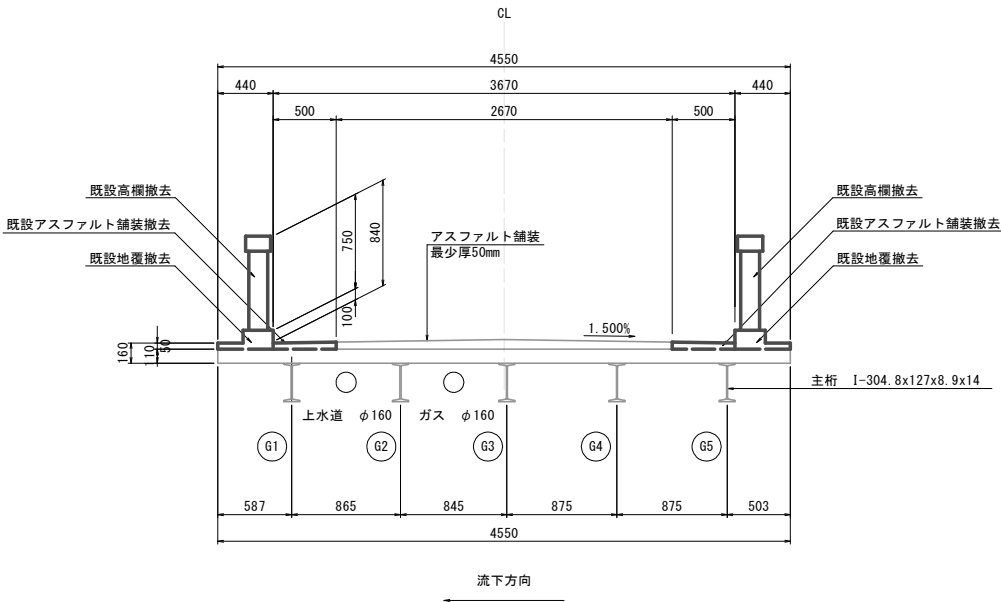
平面図 S=1:30



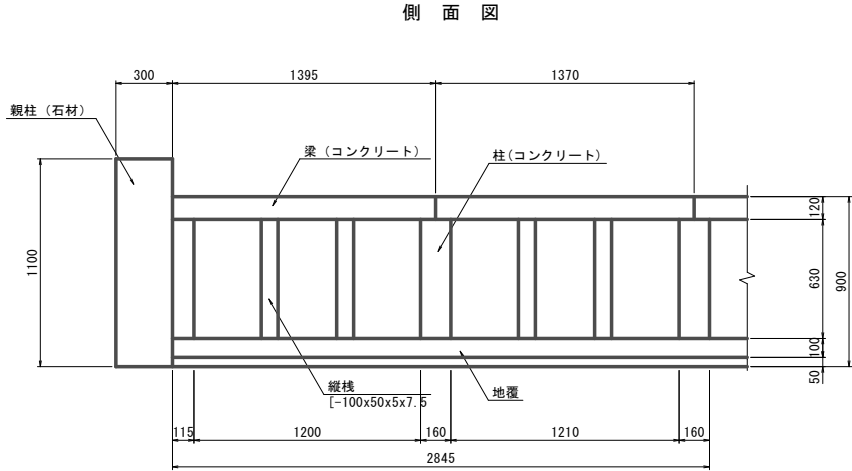
側面図(上流側) S=1:30



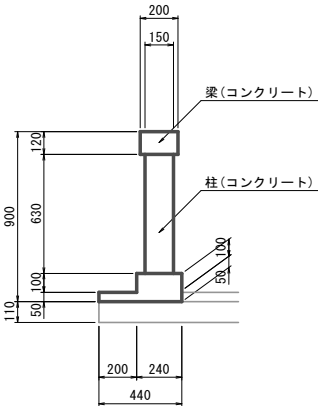
断面図 S=1:30



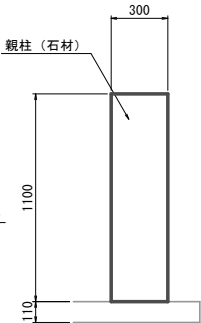
撤去構造図 S=1:20



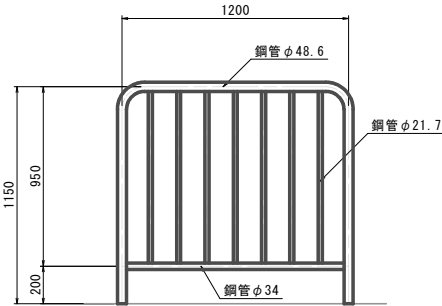
高欄正面図



親柱正面図



転落防止柵



(注意事項)
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

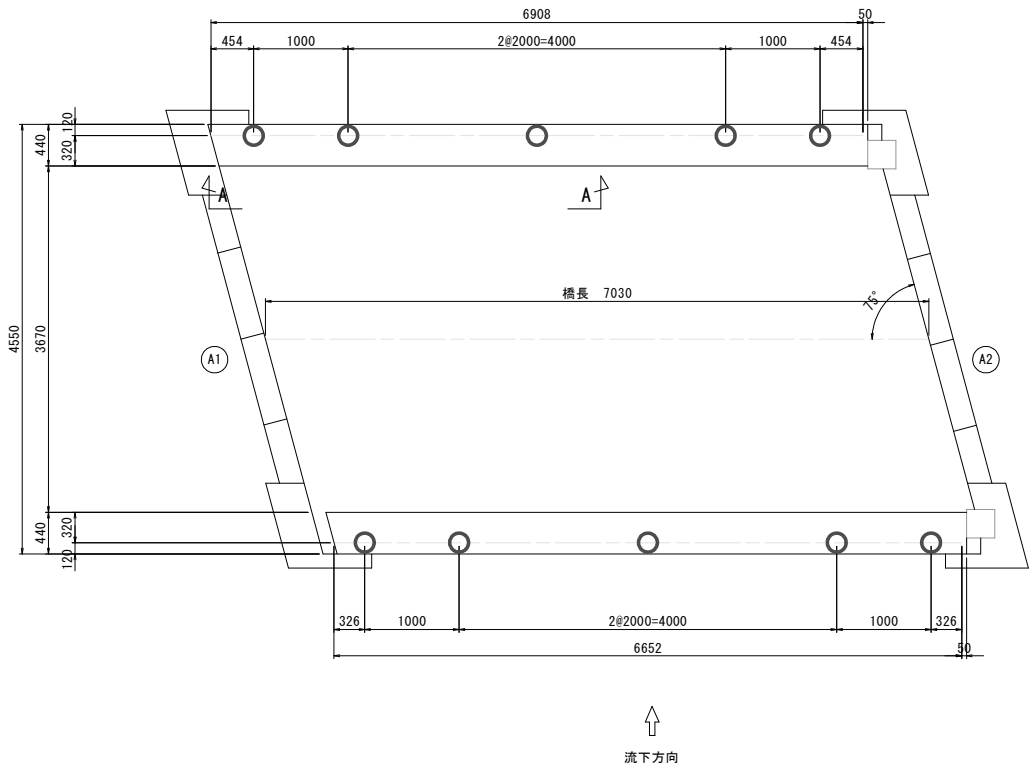
工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(9)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	10 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(10)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	11 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

綾小路橋 補修詳細図(11)

平面図 S=1:40

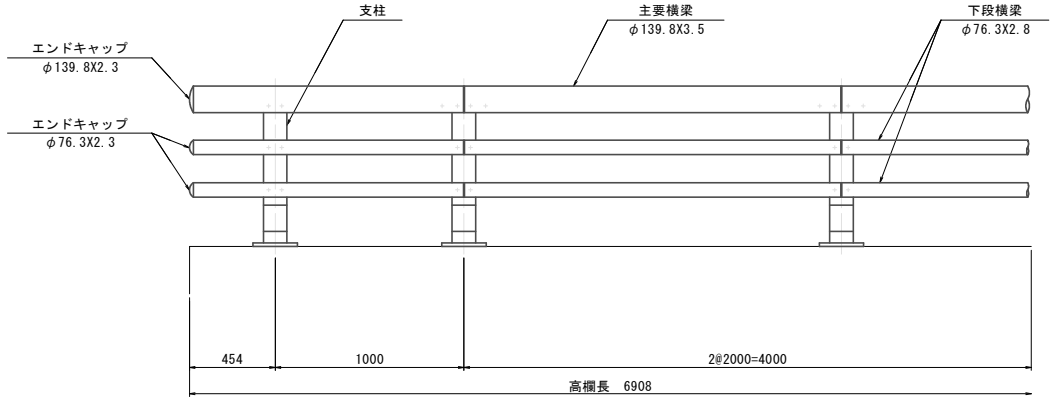
(寸法線は主要横梁中心線上で実長を示す)



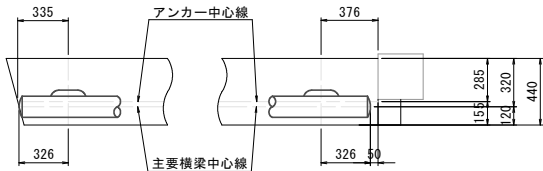
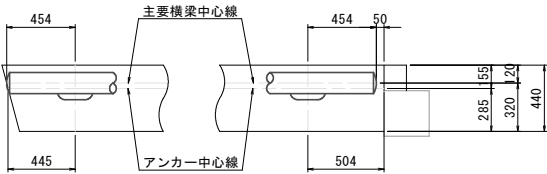
高欄設置工

高欄取付図 S=1:20

A - A 矢視

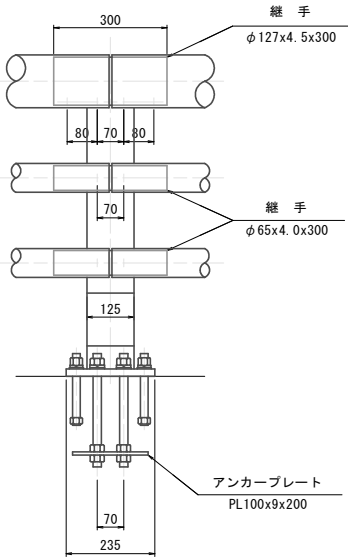


高欄配置詳細図 S=1:25

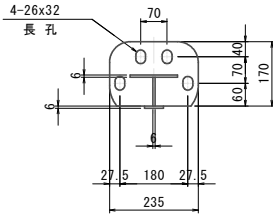


高欄詳細図 S=1:10

標準継手部



ベースプレート
前側



材料表

品名	寸法	材質	数量	単重	重量	備考
DSK-S-3CP-85LFN						
支柱	170X235	SS400	10	15.6 Kg/本	156	
主要横梁	φ139.8X3.5X1995	STK400	4	11.8 Kg/m	94	
主要横梁	φ139.8X3.5X1431.5	STK400	2	11.8 Kg/m	34	
主要横梁	φ139.8X3.5X1303.5	STK400	2	11.8 Kg/m	31	
下段横梁	φ76.3X2.8X1995	STK400	8	5.08 Kg/m	81	
下段横梁	φ76.3X2.8X1431.5	STK400	4	5.08 Kg/m	29	
下段横梁	φ76.3X2.8X1303.5	STK400	4	5.08 Kg/m	26	
継手	φ127X4.5X300	STK400	6	13.6 Kg/m	24	
継手	φ65X4.0X300	STK400	12	6.02 Kg/m	22	
エンドキャップ	φ139.8X2.3	SPCC	4	0.35 Kg/コ	1	
エンドキャップ	φ76.3X2.3	SPCC	8	0.19 Kg/コ	2	
セットボルト	M18X35 (B. W. SW)		72	0.15 Kg/本	11	
アンカーボルト	M22X300 (B. N. W. SW)		20	1.20 Kg/本	24	
アンカーボルト	M20X190 (B. N. W. SW)		20	0.63 Kg/本	13	
アンカープレート	PL100X9X200	SS400	10	1.41 Kg/コ	14	黒皮
Σ =					562 kg	
高欄長 = 13560						

注 記

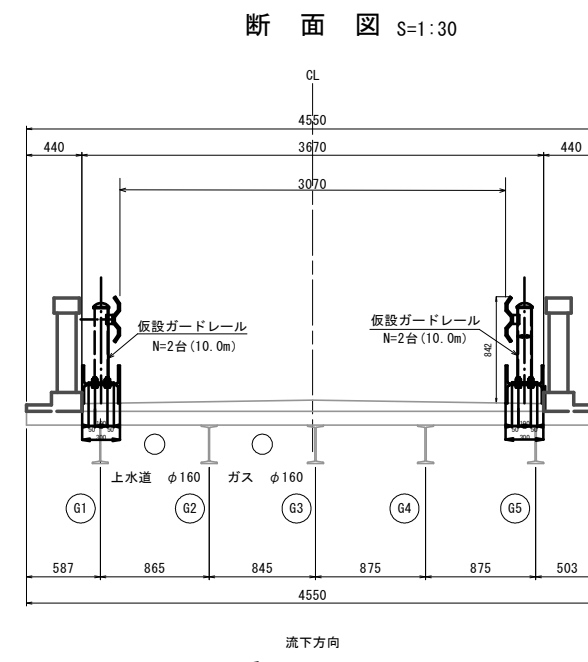
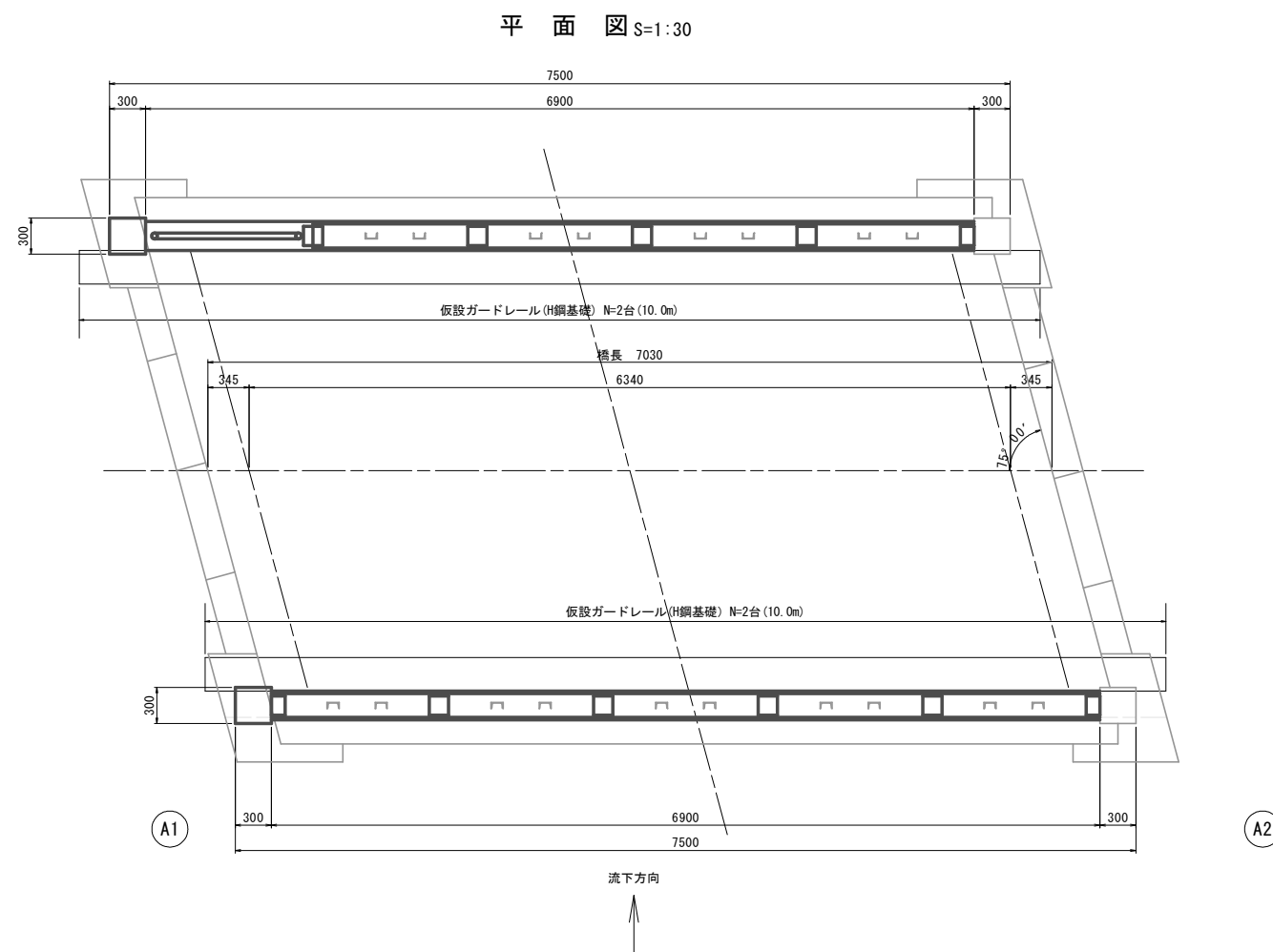
- 表面処理 本体は亜鉛めっき後塗装
ボルト類は亜鉛めっき
- 支柱の製作勾配 0%
- 橋梁用ビーム型防護欄は(一社)全国高欄協会にて認定された
静荷重試験機により性能確認された製品とする。

(注意事項)

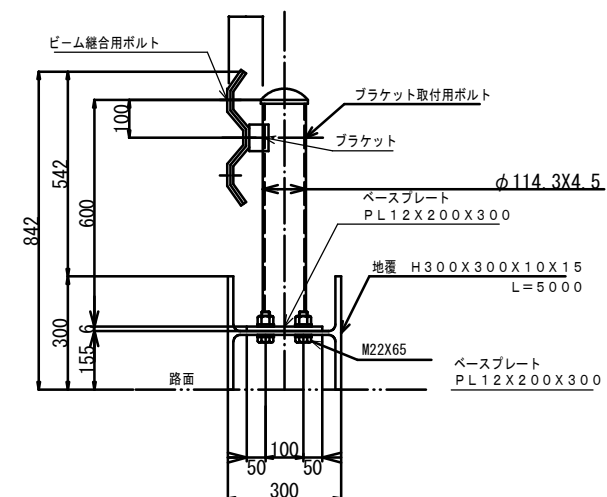
- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	綾小路橋 補修詳細図(11)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	12 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

【参考図】綾小路橋 仮防護柵工 一般図



仮設ガードレール(H鋼基礎) 構造図 S=1/10



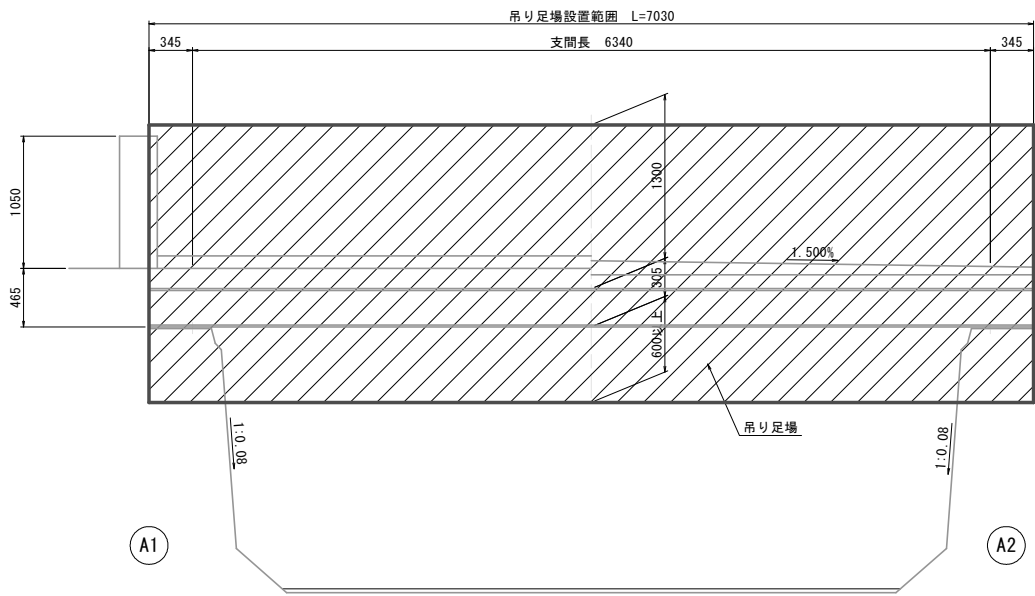
(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。
2. 既存高欄撤去時から新設高欄設置完了までの間、設置するものとする

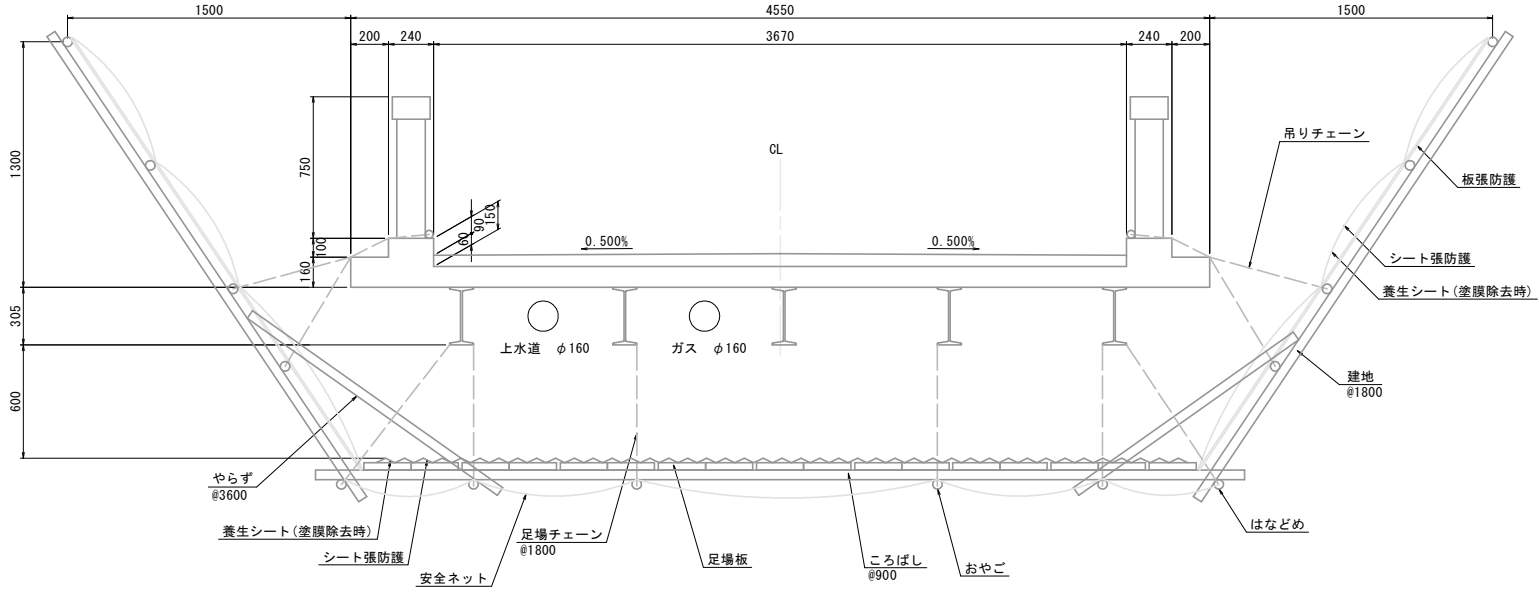
工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	【参考図】綾小路橋 仮防護柵工 一般図		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	図 示	図面番号	13 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう員健全推進課			

【参考図】綾小路橋 足場工図

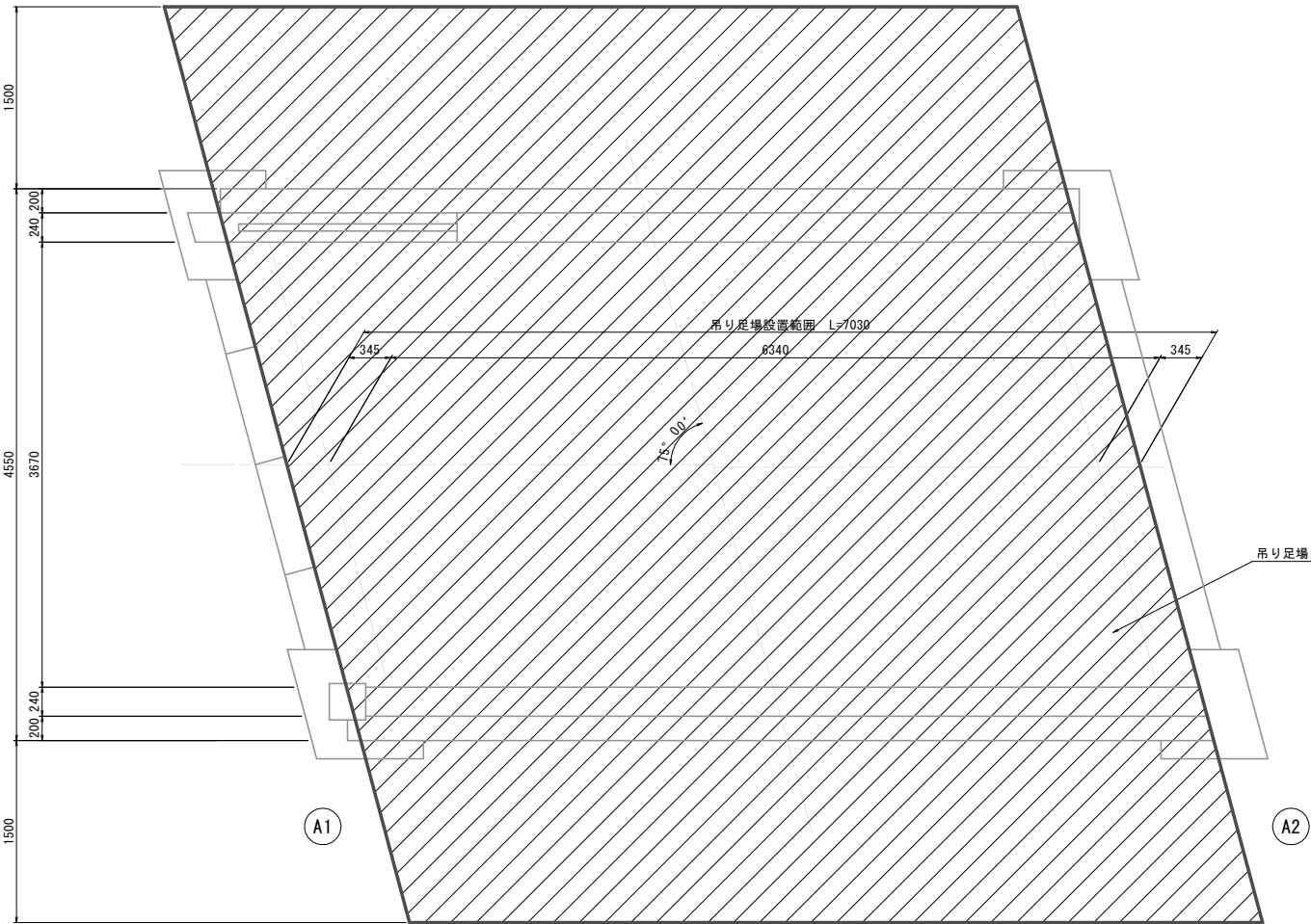
側面図 S=1:30



断面図 S=1:20



平面図 S=1:30



補修用足場工数量表

足場の種類		単 位	数 量	備 考
タイプ A3	吊足場	m ²	32	数量は橋面積Aとする。 (A=全幅員x橋長)
	床面シート張防護	m ²	32	数量は橋面積Aとする。 (A=全幅員x橋長)
養生シート(塗膜除去時)		m ²	32	数量は橋面積Aとする。 (A=全幅員x橋長)
タイプ B	朝顔	m ²	32	数量は橋面積Aとする。 (A=全幅員x橋長)
	板張防護	m ²	32	数量は橋面積Aとする。 (A=全幅員x橋長)
	シート張防護	m ²	32	数量は橋面積Aとする。 (A=全幅員x橋長)

ばく露防止対策工数量表

工 種	種 別	単位	数量	備 考
負圧集じん装置	負圧集じん機(17m3/min級)損料	台・月	1	
	負圧集じん機基本管理料	式	1	
	負圧集じん機用プレフィルター(1次)	枚	5	
	負圧集じん機用高性能フィルター(2次)	枚	2	
	負圧集じん機用HEPAフィルター	個	1	
エアシャワー	透明PETダクト(φ300×30m)	本	1	
	集じん機用インテークチャンバー	台	1	
	簡易型エアシャワー(分割式)損料	月	1	
	エアシャワー基本管理費	台	1	
	エアシャワー用プレフィルター	枚	1	
セキュリティルーム	仮設セキュリティルーム(3室型・骨組シート付)	セット	1	
	粘着クリーンマット(600×900mm・30層)	枚	1	
	HEPAフィルター付真空掃除機 損料	月	1	
	真空掃除機基本管理費	台	1	
	掃除機用アタッチメント一式	セット	1	
真空掃除機	集じん袋(紙パック)	セット	1	
	掃除機用メインフィルター	個	1	
	掃除機用マイクロフィルター	個	1	
	掃除機用HEPAフィルター	個	1	
	掃除機用HEPAフィルター	個	1	

- 施工時、現地確認の上、詳細寸法を決定すること。
- 塗膜に有害物質が含まれるため、塗膜剥離、素地調整施工時等は、塗膜が飛散しないように環境へ配慮した対応を行うこと。
- 吊足場には、足場工、朝顔(両側朝顔)、板張工(両側朝顔)、床面シート張防護が含まれている。
- 吊足場の供用期間は、1.1箇月を想定している。
- 塗膜除去時は養生シートを設置し、塗膜除去後に撤去することで、剥離剤の滑りによる転倒防止、除去塗膜の飛散防止を図ること。

(注意事項)

- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

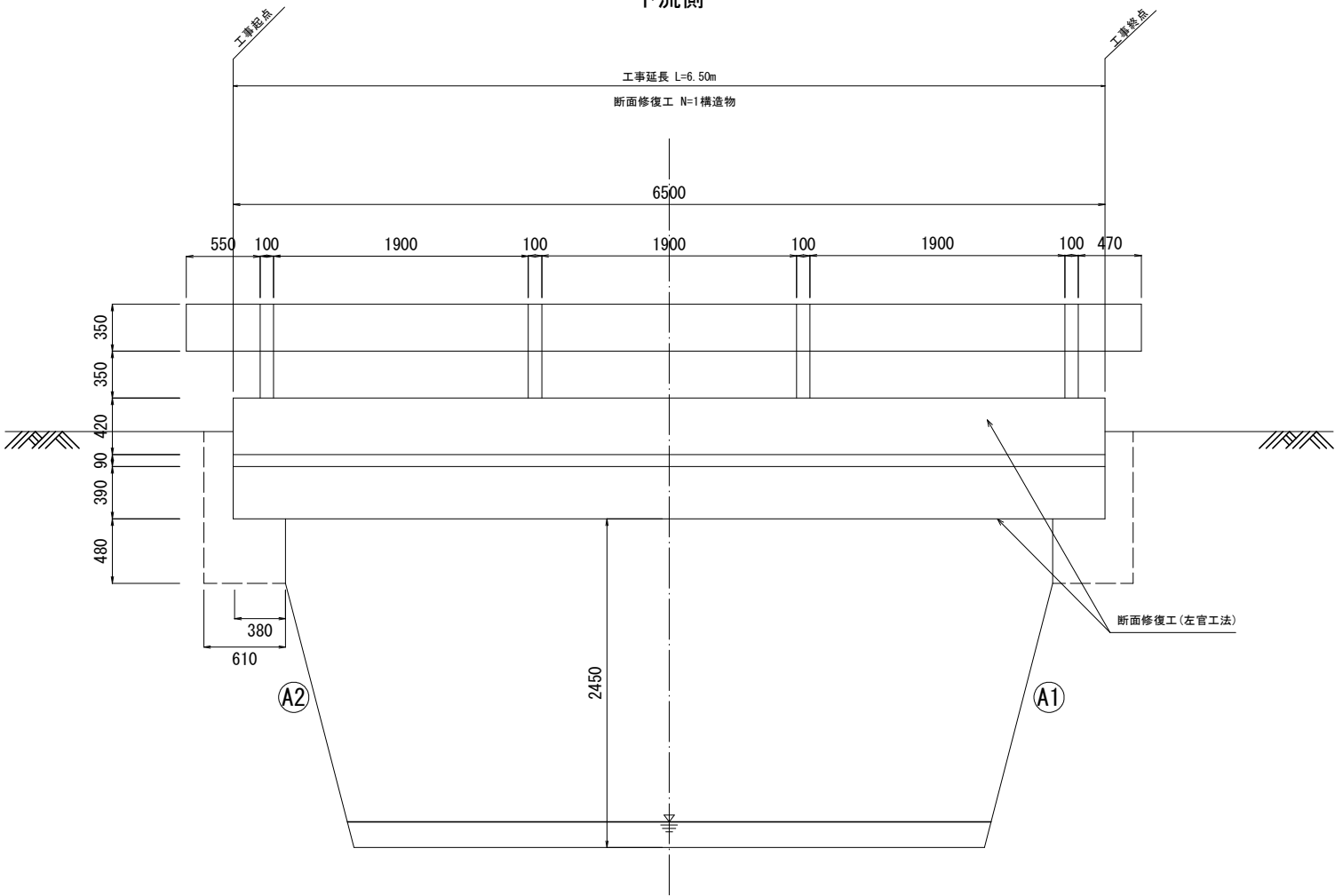
安全費数量表

工 種	種 別	単位	数量	備 考
鉛等呼吸用 保護具等費用	プレッシャードiamond形エアラインマスク (腰バンド・肺力弁付)	個	4	
	エアラインマスク用全面形面体	個	4	
	エアラインマスク専用継手	個	4	
	空気用ワンタッチ管継手(ソケット/プラグ)	個	4	
	防じん機能付吸収缶	個	20	
	送気マスク用エアラインホース(50m)	本	4	
	送気マスク用空気ろ過器	台	1	
	電動ファン付き呼吸用保護具(全面形面体)	台	2	
	電動ファンマスク用吸収缶(有機ガス用)	個	20	
	電動ファンマスク用フィルターガード	個	2	
	全面形面体用カーブグラス	箱	1	
	電動ファンマスク用予備バッテリー	個	2	
	化学防護服(JIS T8115 タイプ4適合・3L)	箱	3	
	使い捨て靴カバー(JIS T8115 タイプ4相当)	袋	12	
	ニトリルゴム製使い捨て手袋(Lサイズ)	袋	12	
	化学防護長靴	足	6	

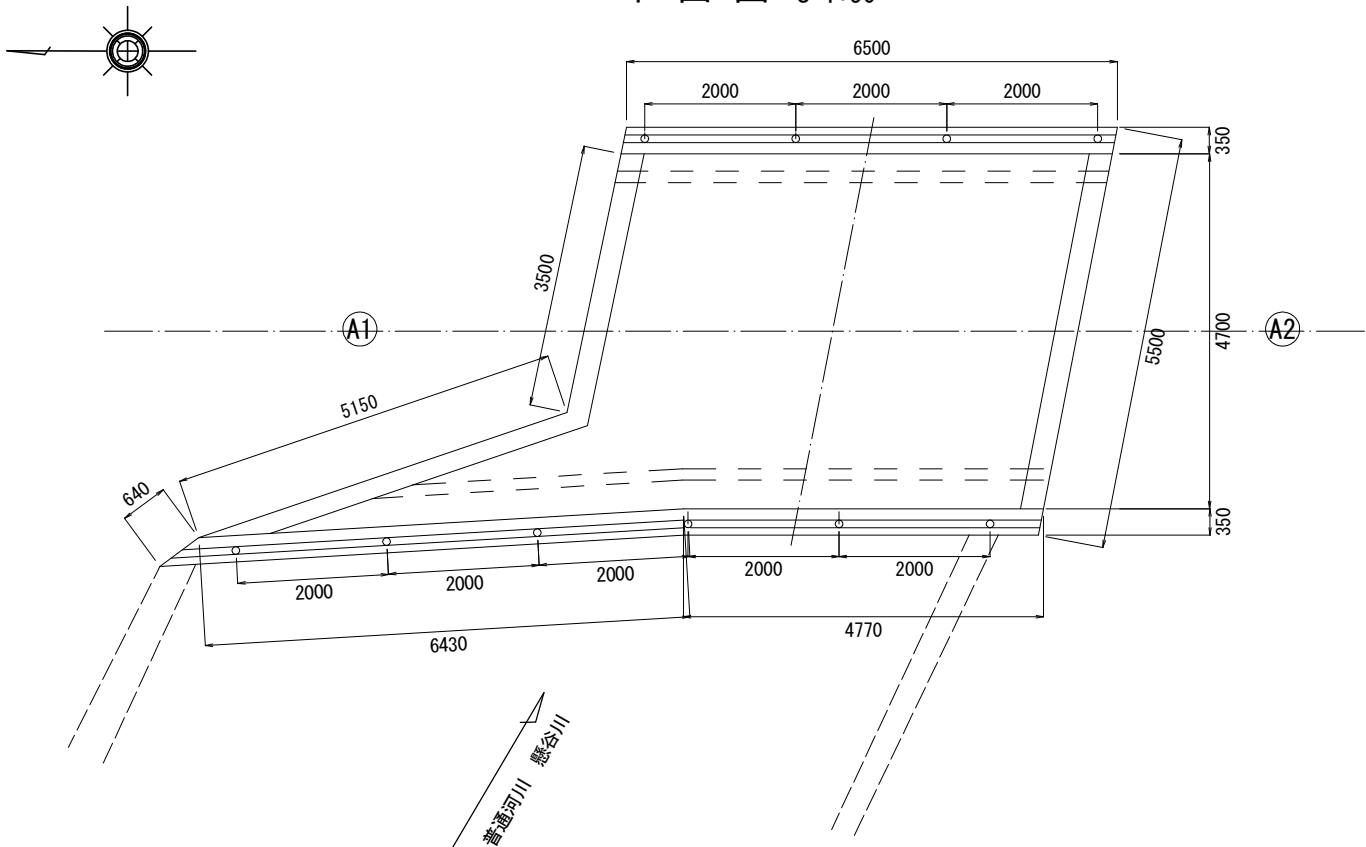
工事名	綾小路橋2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	【参考図】綾小路橋 足場工図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	14 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

岩倉二号橋 補修一般図

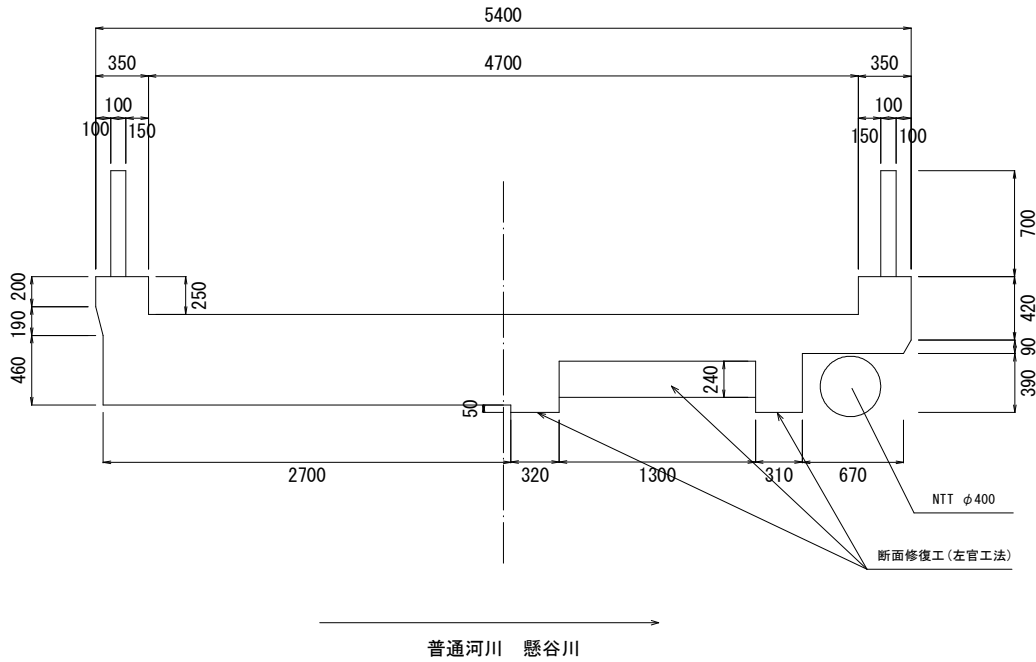
側面図 S=1:25
下流側



平面図 S=1:50



断面図 S=1:25
A2橋台側



橋梁諸元	
橋 梁 名	岩倉二号橋
竣 工 年	昭和47年 (1971年)
路 線 名	抽原向日線
交差物件	普通河川 懸谷川
橋 長	6.5m
幅 員	5.3m
上部工形式	RC-T桁 / RC中実床版
下部工形式	橋台：不明
基礎工形式	不明
適用示方書	道路橋設計示方書案 昭和39年
設計活荷重	TL-14 (昭和31年)

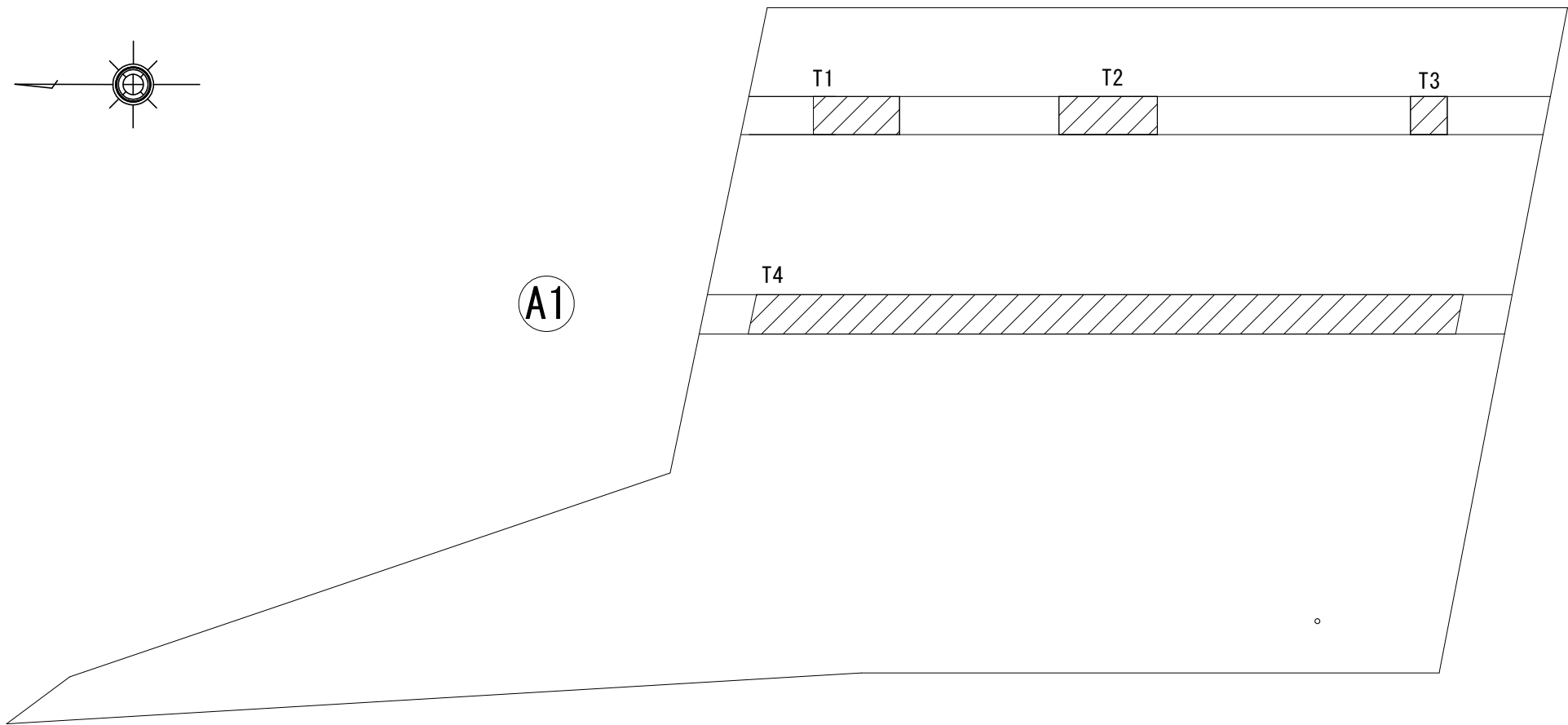
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	岩倉二号橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	15 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

岩倉二号橋 補修詳細図(1)

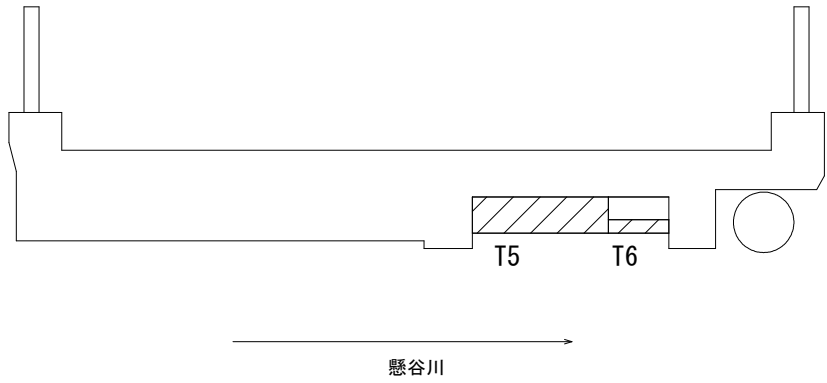
断面修復工(1)

平面図 S=1:25



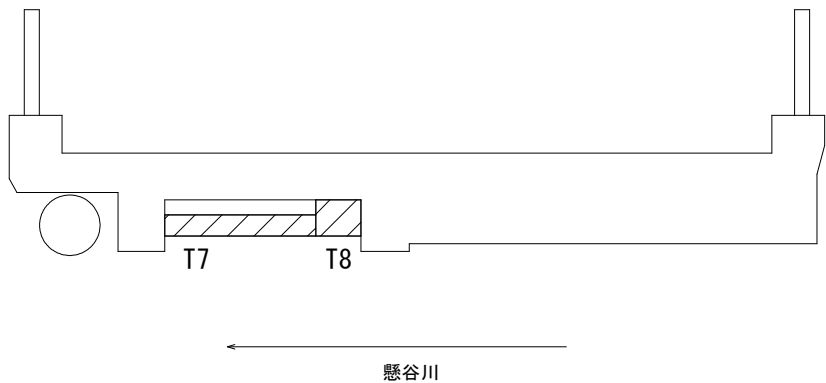
断面図 S=1:25

A1橋台側



断面図 S=1:25

A2橋台側



数量表

断面修復工(鉄筋露出部) (左官工法・防錆処理有り)

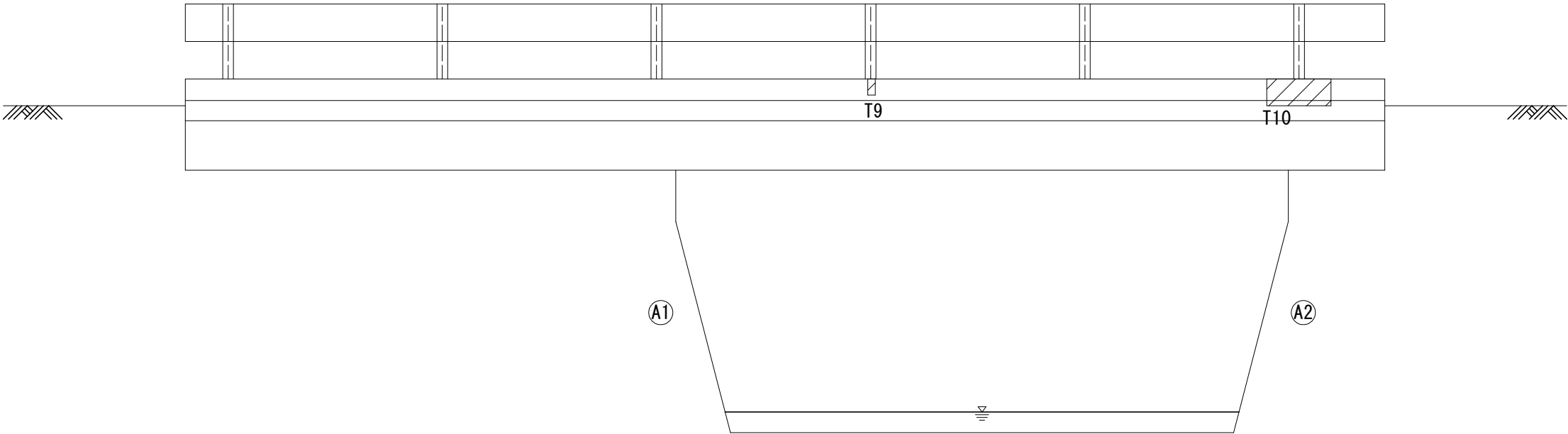
番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)	備考
T1	0.310	0.700	0.050	0.217	0.011	主桁
T2	0.310	0.800	0.050	0.248	0.012	主桁
T3	0.310	0.300	0.050	0.093	0.005	主桁
T4	0.320	5.720	0.050	1.830	0.092	主桁
T5	0.240	0.900	0.050	0.216	0.011	横桁
T6	0.090	0.400	0.050	0.036	0.002	横桁
T7	0.140	1.000	0.050	0.140	0.007	横桁
T8	0.240	0.300	0.050	0.072	0.004	横桁
合計				2.852	0.144	

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	岩倉二号橋 補修詳細図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	16 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

岩倉二号橋 補修詳細図(2)

断面修復工(2)

側 面 図 S=1:25
上流側



数量表

断面修復工(鉄筋露出部) (左官工法・防錆処理有り)

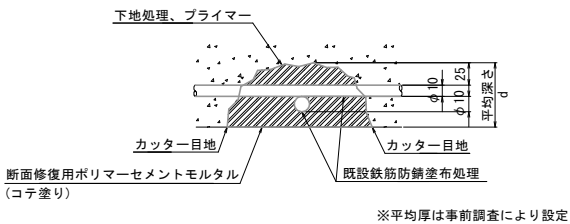
番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)	備考
T9	0.150	0.070	0.050	0.011	0.001	地覆
T10	0.250	0.600	0.050	0.150	0.008	地覆
合計				0.161	0.009	

断面修復工 総括表

工 種	種 別	仕 様	単位	数量	備 考
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	m3	0.153	

断面修復工詳細図

(左官工法・防錆処理有り)
(ひび割れ・鉄筋露出)



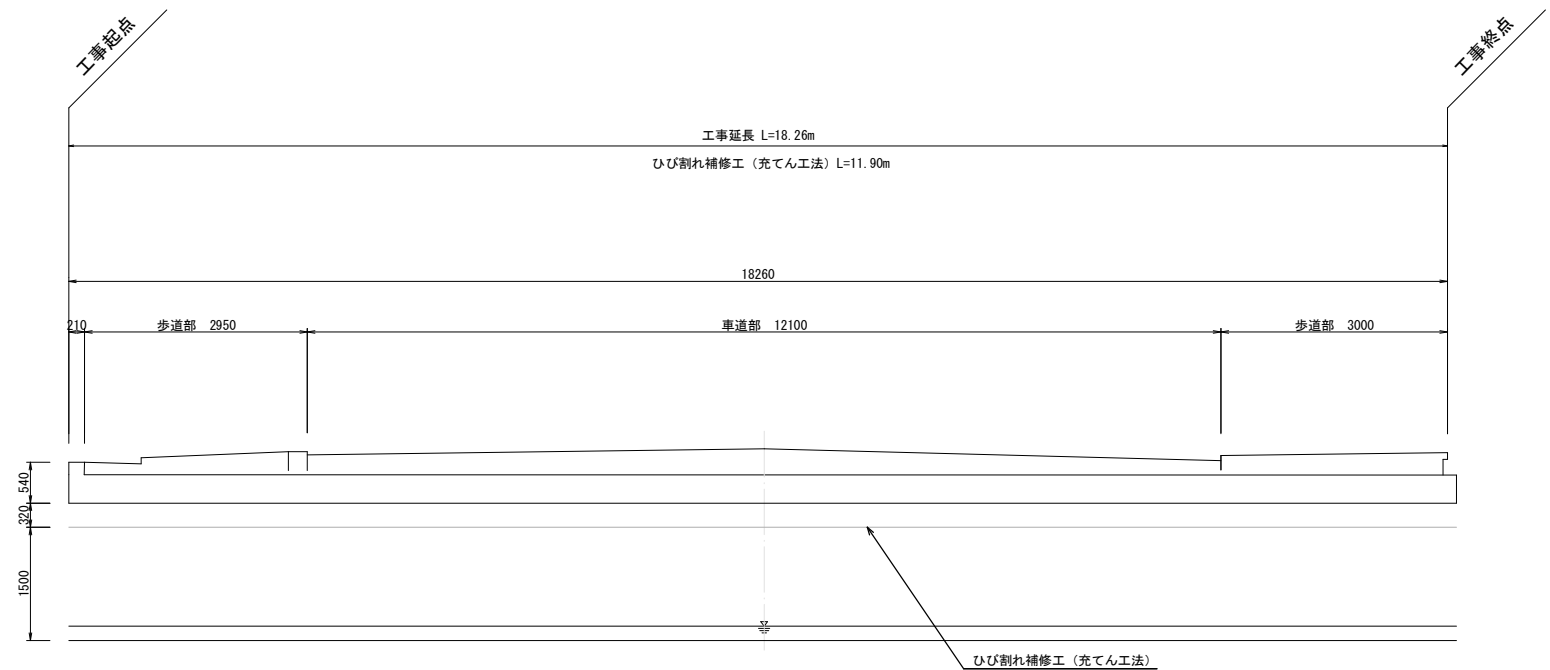
- 注)
- 断面修復はつり深さ(平均厚50mm)は、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
 - 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
 - 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空体・充体の数量により決定すること。
空体・充体については、監督職員の了承を得ること。
 - 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

- (注意事項)
- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

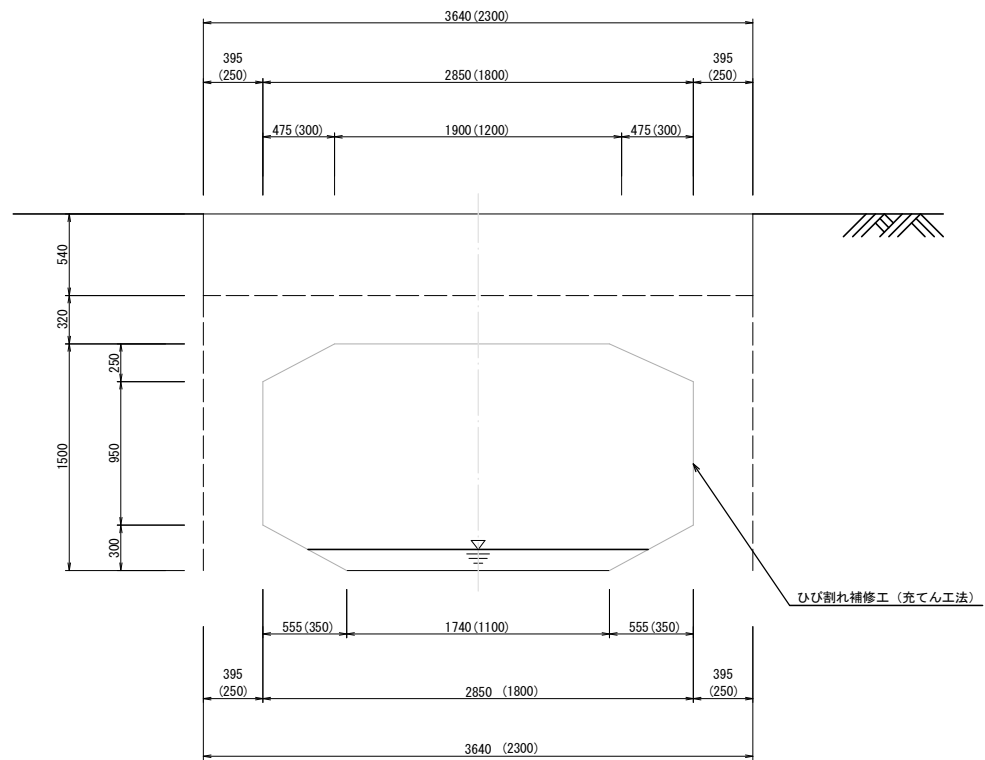
工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	岩倉二号橋 補修詳細図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図 示	図面番号	17 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

朱雀橋 補修一般図(1)

断面図 S=1:50



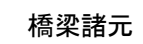
側面図 S=1:25



1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	朱雀橋 補修一般図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	18 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

平面图 S=1:50



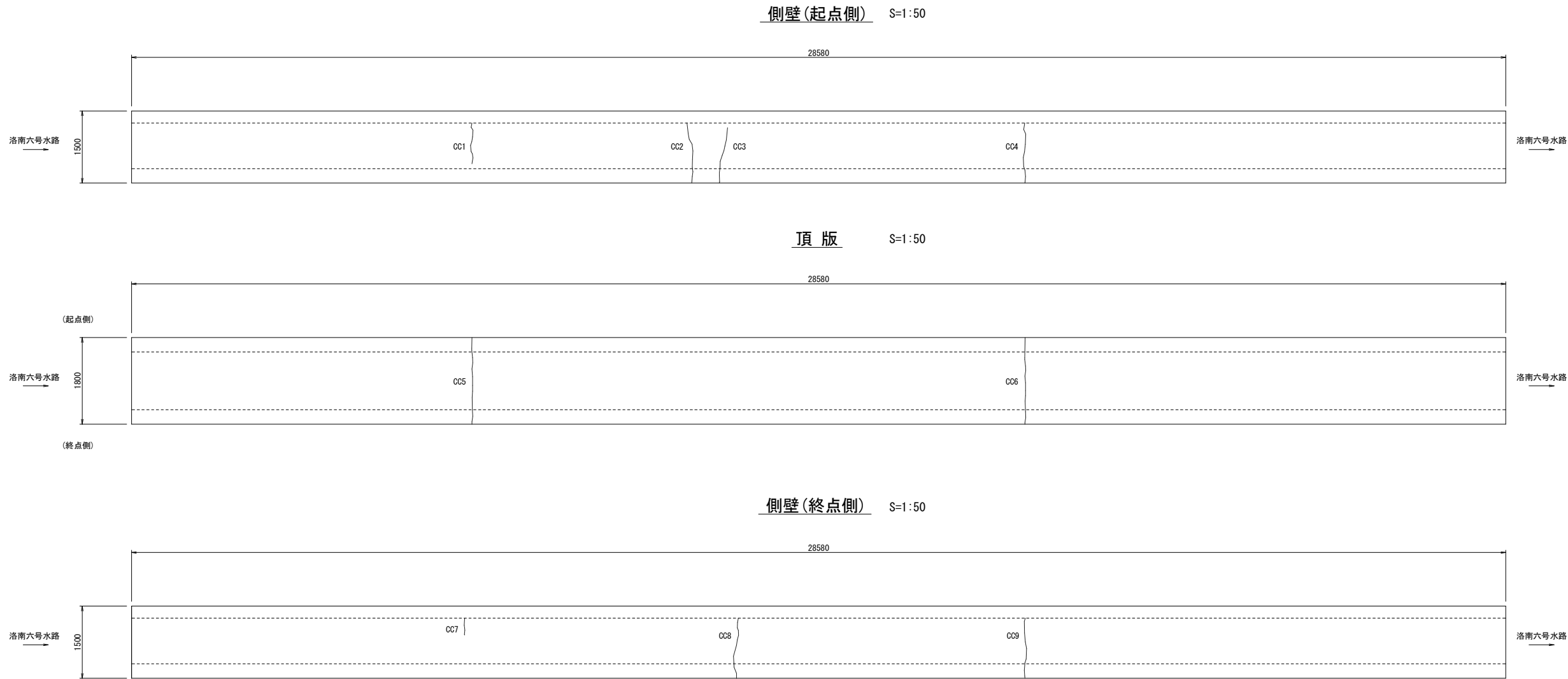
橋 梁 名	朱雀橋
竣 工 年	昭和9年（1934年）
路 線 名	京都守口線
交差物件	洛南六号水路
橋 長	3. 6m
幅 員	18. 3m
橋 種	ボックスカルバート

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋柵2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	朱雀橋 補修一般図(2)		
事業年度	令和 8 年度		
縮尺	図 示	図面番号	19 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

朱雀橋 補修詳細図

ひび割れ充填工



数量表

頂版・側壁

ひびわれ (CC)
(W=1.0mm以上)

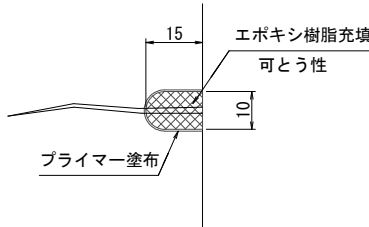
番号	W (mm)	L (mm)
CC1	2.0	850
CC2	2.0	1300
CC3	2.0	1200
CC4	8.0	1300
CC5	2.0	2000
CC6	5.0	2000
CC7	2.0	600
CC8	3.0	1300
CC9	8.0	1300
合計		11900

損傷凡例

	ひびわれ (開口幅1.0mm以上)
--	-------------------

ひびわれ充填

(ひびわれ幅1.0mm以上)



ひびわれ充填工施工手順

表面処理工
ひびわれ部Uカット
プライマー塗布
充填工
充填材の硬化養生
完了

(注意事項)

- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、工事にあたっては、当該部材寸法を再度現地計測すること。

工事名	綾小路橋他2橋補修工事		
工事場所	京都市中京区壬生森前町他地内		
図面名	朱雀橋 補修詳細図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	20 / 20
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			